

京柔整復師会報

機関誌 138号



年頭のご挨拶

現場から「変化」する

会長 長尾 淳彦

「原 健先生を偲ぶ会」 開催

公益社団法人 京都府柔道整復師会

平成28年1月20日

目 次

● 新年のご挨拶	会 長	長尾 淳彦	3
● 新年のご挨拶	京都府知事	山田 啓二	5
● 新年のご挨拶	京都市長	門川 大作	6
● 新年のご挨拶	京都府医師会会長	森 洋一	7
● 新年のご挨拶	衆議院議長	伊吹 文明	8
● 新年のご挨拶	衆議院議員	谷垣 禎一	9
● 新年のご挨拶	衆議院議員	田中 英之	10
● 新年のご挨拶	参議院議員	二之湯 智	11
● 新年のご挨拶	参議院議員	西田 昌司	12
● 新年のご挨拶	京都府議会議員	田中 英夫	13
● 新年のご挨拶	京都府議会議員	片山 誠治	14
● 新年のご挨拶	京都府議会議員	村田 正治	15
● 新年のご挨拶	京都市会議員	橋村 芳和	16
● 新年のご挨拶	副会長	柴田 宗宣	17
● 新年のご挨拶	副会長 保険部長	林 啓史	18
● 新年のご挨拶	総務部長	中田 康人	19
● 新年のご挨拶	事業部長	中村 英弘	20
● 新年のご挨拶	事業部副部長	岡田 達也	21
● 新年のご挨拶	経理部長	谷山 和浩	22
● 新年のご挨拶	広報部長	中川 稔貴	23
● 新年のご挨拶	学術部長	綾田 剣一	24
● 新年のご挨拶	学術副部長	田中 弘昭	25
● 新年のご挨拶	監事	宮根 保司	26
● 新年のご挨拶	協同組合 理事長	関 弘美	27
●			
✿ 「原 健先生を偲ぶ会」開催			28
✿ 第40回 公益社団法人 日本柔道整復師会 近畿学術大会 京都大会			29
✿ 保険講習会			30
✿ 平成27年度 第1回 全体会議開催			31
✿ 京都府医療推進協議会 イベント			
明日からできる子育て支援「子育てファミリーをみんなで応援」			31
✿ 文部科学大臣杯争奪			
第24回 日整全国少年柔道大会 第5回 日整全国少年柔道形競技会			
厚生労働大臣旗争奪 第39回 日整全国柔道大会			32

✿	第27回市民スポーツフェスティバル救護活動報告	34
✿	平成27年11月15日チャンピオン大会（女子バレーボール）における活動報告 救急救護隊 第二分隊 分隊長 岡村 優輝	34
✿	「近畿府県防災訓練」に京都府柔道整復師会が参加 事業部員 田井 覚	35
✿	柔道整復師の『今できること・今すべきこと』 第24回 日本柔道整復接骨医学会学術大会	35
✿	京都市社会福祉協議会主催「福祉の絆づくり事業」 一助成団体・施設に公益社団法人京都府柔道整復師会が選ばれる一	37
✿	第34回 舞鶴学童柔道大会の救護活動報告	北丹支部 村上 由一 38
✿	「八幡市柔道大会」救護活動報告	救急救護隊 第六分隊 分隊長 国本 一路 38
✿	協同組合主催 Olympiaテーピング講習会	39
✿	協同組合 中小企業団体中央会補助金事業講習会	39
✿	第48回 松谷杯柔道大会救護報告	第五分隊 北丹支部 盛次 俊允 40
✿	第18回 京柔整会ゴルフコンペ	京柔整ゴルフ同好会 山形 高明 40
✿	第17回 格趣書法会展開催	書道同好会 井坂 豊 41
✿	ゴルフ同好会活動報告	京柔整ゴルフ同好会 山形 高明 41
✿	京都府健康福祉部医療課 平成27年度在宅療養等従事者確保支援事業 認知症対応力向上研修会	42
✿	京都手をつなぐ育成会 第41回 親睦大運動会 京柔整ゴルフ同好会 山形 高明	44
✿	支部だより ・下京・南支部研修会	通信員 保家 幸生 44
👤	会員の動静	45
📌	掲示板コーナー	45
📌	お知らせ	46
📌	編集後記	47

表紙の写真

松尾大社 拝殿 “大絵馬”

この大絵馬は京都在住の版画家 井堂 雅夫氏に原画を依頼しこれを元に作成された高さ3.2m、横幅5.5m、厚さ15cm、総重量90kg余の京都市内唯一の超大型絵馬です。

この大絵馬は、お正月に参拝者に授与される干支絵馬を拡大したもので、京都の神社の迎春準備としては最も早く毎年11月下旬より、翌年1月末まで松尾大社 拝殿に掲げられます。

この拝殿“大絵馬”は昭和58年（1983）の亥年が初回で今回の平成28年“未”年で数えて34回目となります。（松尾大社HP引用）

現場から「変化」する



会長 長尾 淳彦

明けましておめでとうございます。昨年6月の総会にて信任を受けた新執行部の理事・監事とともに2年目を迎えます。公約に挙げた本会柔道整復師の「信頼」は行政・保険者・医療関係者・患者さんに歩みは遅くとも着実に「回復」の兆しがみられます。

この半年間、公益社団法人としての「法令遵守」「組織統制」「倫理観」「学術研鑽」を外部に強烈にアピールできました。ご協力ありがとうございました。

さて、いま我々柔道整復師が考え行わなければならないことは「変化」することです。

臨床の現場から「良き変化」のために行動しなければなりません。そして、その変化は患者さんのニーズ、デマンドに沿ったものでなければなりません。自分勝手な行動は慎まなければなりません。

全国に6万か所、京都府には1300か所の接骨院があり、いわゆる屋号も医療職とは思えないようなところもあります。骨盤矯正・小顔づくり・不妊治療などの広告も見受けられます。

柔道整復師のIdentityを問われるところです。

地域の「ほねつぎ」、地域の「よき相談役」として根付き育てていただいた柔道整復です。

「変化」もその脈絡に沿って行わなくてはなりません。

そうしたことを念頭に置き、2016年の執行部の優先課題は

「柔道整復師の資格による働き場所の拡充」

「会員倍增」

「会館維持対策」

の3つを挙げます

「柔道整復師の資格による働き場所の拡充」は地域包括ケアシステムにおける人的資源として柔道整復師を活用していただく働き掛けを今までにも増して行います。これは機能訓練指導員のみならず、柔道整復師の業である骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷の患者さんを在宅にて診ることも含んでいます。ほかにも我々が出来ることは沢山あります。

「会員倍増」については組織率50%以上がその理由で目標です。京都府の施術所は約1300施術所あります。50%は750施術所です。この1年間での達成は無理でしょうが、決して難しい数字だとは思っていません。組織として、法令遵守、組織統制を府内柔道整復師にきちんと伝えるためには組織率50%が最低ラインです。

「会館維持対策」については昨年末より会長諮問機関として「会館移転計画検討委員会」を設置して現会館の現状、近い将来発生する修繕・補修や耐震対策費などを算出して現在の会館稼働率やランニングコストを勘案し何を優先的に着手すべきかを調査しております。

極力、会員の皆様の経済的、事務的負担の少ない方法を選択して公益社団法人の役割を務められるようにしたいと考えております。

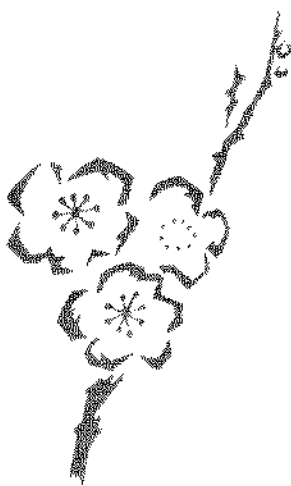
本会の主要な事業である指定居宅介護支援事業所、京都市伏見地域介護予防推進センターも今後の国や府・市町村の施策方針に沿って、柔道整復師が地域の人的資源として活躍できるように提案できる組織にしていきます。

指定居宅介護支援事業所は柔道整復師という資格により取得した介護支援専門員（ケアマネジャー）である本会会員が介護の必要な方やそのご家族のご要望を様々な状況を考慮して適切なサービスが利用できるように支援しております。柔道整復師の会がこの事業を行っていることもまだまだ告知・認識不足です。本会事業の核として健全な運営を促進し広報してまいります。

もうひとつの事業の核である京都市伏見地域介護予防推進センターについては今年度から京都市の補助金削減により事業の見直しを図っております。柔道整復師が地域の介護予防を含めて人的資源として認めてもらえるように鋭意努力してまいります。

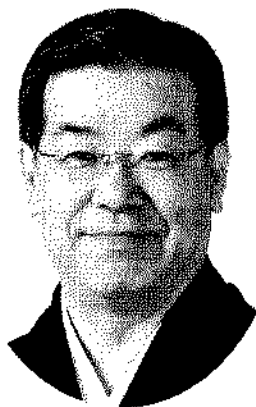
柔道整復師が国民のために本当に何が出来るのかを今一度問い直し、現場から「よき変化」をしていきたいと考えております。

執行部・事務局ともに新年を迎え気持ち新たに業務に邁進いたします。皆様の一層のご協力とご支援を切にお願いして新年のご挨拶とさせていただきます。



「文化創生」から新たな京都を

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。



京都府知事 山田 啓二

昨年を振り返って

昨年7月には、長年の悲願であった京都の南北軸、京都縦貫自動車道が34年という長い歳月をかけてようやく全線開通しました。京都全体に大きな流れを創るこの大事業の完成に尽力された全ての方々に、心からお礼を申し上げます。この開通を期し北部7市町においては、4カ月にわたり「海の京都博」を開催し盛り上げていただきましたことに対しましても感謝申し上げます。また、昨年は琳派400年記念事業、さらに国宝「東寺百合文書」と第二次世界大戦後のシベリア抑留者等の引き揚げ記録「舞鶴への生還」の世界記憶遺産登録。そして「日本茶800年の歴史散歩～京都・山城」の日本遺産への認定など北から南まで京都の持つ豊かな文化を示すことが出来た一年でした。しかし、地方消滅とまで言われる少子・高齢化問題や、雇用情勢が好転すると顕著になる人材不足。円安により輸出産業が伸びる一方、内需型中小企業は原材料高に苦しみ、伝統産業も広幅織物は伸びたのに対し着物の需要はまだ低迷、さらにはTPP問題で農林水産業には懸念が広がるなど、さまざまな課題が改めて浮き彫りになった年でもありました。

京都流の地域創生へ

こうした課題の克服と同時に京都の力を最大限に発揮して、京都の将来を切り拓くことができるよう、昨年10月、「京都流 地域創生～『文化創生』から新たな生活を～」をテーマに「京都府地域創生戦略」を策定しました。こうした問題の背景には東京一極集中や、大都市や大企業志向に代表されるような価値観の固定化が進む中での格差の広がりがあり、社会が柔軟性を失いつつあるのではという危惧があります。今、京都から、少子化問題・子供の貧困対策、若者の就労支援などでもう一度「人づくり文化」を確立させ、マネーゲームにはない真の豊かさを取り戻すために産学公の力を結集し、技術力に裏打ちされたものづくりの素晴らしさを広め、京都の豊かな農林水産資源を六次産業へと発展させる時代を踏まえた「産業文化」を育成し、京都ならではの伝統・文化に恵まれた大都市と豊かな自然をもつ田園の両方の魅力を楽しむことができる、ある面贅沢な「京都ぐらし文化」を創生させなければなりません。そしてこうした文化を統合させ、京都が多様性に富み、躍動的な地域として魅力を世界に発信できる「地域づくり文化」へと昇華させていくことが必要だと考えています。これからの数年は京都の将来を左右する大事な時です。地域創生は他人事ではなくまさに私たちの未来です。京都には、どこにも負けない歴史と伝統があります。さらには世界水準の大学・研究機関、高い技術力を持った中小企業の集積、豊かな自然環境など魅力的な資源や資産をたっぷり有しています。

「もうひとつの京都」の発信

昨年は「海の京都」を見ていただきました。そして今年は「森の京都」です。京都府の74.3%は森林であり、森は私たちの水を清め、空気をつくり、災害を防ぎ、さらには貴重な木材資源を提供してくれます。何にも代えがたい宝である京都の森の素晴らしさを皆さまとともに分かち合い、次世代に引き継ぐため、「全国育樹祭」を中心に、森の恵みを府民の皆さまに体感していただく「森の京都博」や丹波高原の国定公園の新規指定など、林業の振興と自然保護と森の文化が一体となった「森の京都スタイル」の確立を目指した地域づくりを進めることとしています。こうした素晴らしい森林を未来に受け継いでいくための財源として、「豊かな森を育てる府民税」の導入を昨年、府議会でご議決いただきました。4月から年600円お支払いすることになりますが、どうか府民の皆さまに、この税に対するご理解をいただきたいと思っております。京都の未来を拓く人をつくり、地域経済を活性化させて仕事をつくり、京都への人の流れをつくる。さらには新しい交流の中で持続可能で魅力と活力のある地域をつくり、そして京都から日本を変える新たな「文化創生」。今多くの観光客が京都を目指しています。単に名所旧跡があるからだけでなく、京都の持つおもてなしの心、人を癒す環境、ほんまもんが持つ力が人々を引きつけているのだと思います。今年、リオデジャネイロでの夏のオリンピック・パラリンピックが終わればいよいよ東京オリンピック・パラリンピックへの道のりが始まります。その皮切りが、秋に京都で行われる国主催のスポーツと文化の国際フォーラムです。京都の「文化創生」はいよいよ本番を迎えます。府民の皆さまのご協力を心からお願いし、この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

“共汗”のまちづくりが着実に前進！ 共々に明るい未来へ！



京都市長 門川 大作

あけましておめでとうございます。

この一年の公益社団法人京都府柔道整復師会の皆さんの御多幸をお祈り申し上げます。

皆さんの御支援をいただき、市長就任後8回目の新年を迎えました。この間、現地現場主義に徹し、六千箇所以上の市民の皆さんの活動の場、市政の第一線を訪ね、京都の今と未来を見つめ、市政改革に邁進してまいりました。その度に、改めて京都の地域力、創造力、それらを支える皆さんの人間力に感動し、感謝感謝の日々です。

多くの方からこんな声をいただきます。デイサービスセンターが近くにできて喜んでます。京都のまちが、趣のある看板や「門掃き」などで美しくなってきましたね。

待機児童ゼロ！保育所に入りやすくなり、幼稚園も充実。さらに小・中・高校が地域、PTA、教職員の熱意により画期的に良くなりましたね。市バス、地下鉄が便利になり、お客様も増えてますね。観光人気都市世界一は私たちの誇りです。京都の都市格の高まりを実感しています。水族館に続き、動物園、動物愛護センターが素晴らしい！ロームシアター京都、鉄道博物館の開館が楽しみです。市民の皆さんと共に汗する“共汗”で進めてきた施策の確かな前進を、肌で感じています。

府市協調で二重行政を打破し、行政の効率化と行財政改革の断行で財源を確保。また市民の皆さんの御協力でごみは43%減り、年間ごみ処理のコストは106億円削減、福祉等の充実へ。歩くまち京都・公共交通優先の取組も着実に進展。マイカーで入浴する方はこの20年で42%から9.9%に減少。四条通の歩道拡幅も御心労おかけしましたが、工事が完成し歩きやすくなり、バスの運行もほぼ順調に。福祉と共に、子育て環境日本一を目指す施策も前進。そんな京都で子育てしたい、住みたい！という方が増え、転入される方も増えてきました。

しかし、市民の皆さんや中小企業の皆さんが豊かさを実感されるまでには至っていません。まだまだ課題も山積。京都ならではの文化力、知恵を活かし、経済の活性化、安定した雇用の創出につなぎ、市民の皆さんに「京都に住んでいてよかった」と心から感じていただけるよう誠心誠意努力します。そのためにも文化庁を京都に！オール京都で取り組みます。

皆さんの御理解御支援に改めて感謝申し上げます。

新年のご挨拶



一般社団法人京都府医師会
会長 森 洋 一

京都府柔道整復師会の会員の皆様方、新年明けましておめでとうございます。皆様にはご健勝にて、新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、戦後70年という節目の年であり、外交問題や安全保障関連法案が活発に議論された年でありました。日本の企業全体が低迷する中、医療法改正等、医療を取り巻く環境も大きく変化し、大変厳しい局面でもありました。

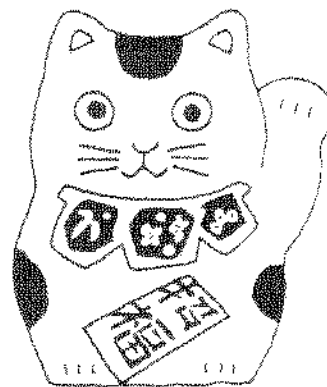
政府は、アベノミクスが浸透しているとしておりますが、現状は、一部の大企業の経営状態が良くなっているだけで、末端の中小零細企業にまで浸透していないのは皆様ご承知のとおりであります。今や一千兆円を超える債務を抱え、安倍首相のいわゆる三本の矢と

称する経済政策も内需の拡大に繋がっているとは言い難く、国民の生活は二極化し、子育て世代の負担は厳しくなる一方にあります。このまま、少子化が進み、経済の停滞が続きますと、財政難から社会保障費が大きく削減されることとなり、国民が安心して生涯を過ごすことの出来る豊かな社会の実現は困難なものとなります。社会の安定した成長のためには、心豊かで健康な生活を生涯送ることができるような医療、介護、福祉の充実が必要不可欠であります。

経済格差が拡大している今日の日本において、社会保障の根幹を成す皆保険制度の堅持は、今後も死守すべき国民的課題であります。弱者を守る社会保障がこれ以上切り捨てられることを、このまま看過するわけにはまいりません。国民が安心して暮らせる社会保障を堅持することが我々の大きな責務であり、良識ある意見を京都から全国に発信し、有言実行していけるよう取り組んでいく所存であります。

京都府医師会といたしましても、関係団体との連携強化を図り、公平かつ適正な社会保障制度の確立を目指して努力をしてまいります。一層のご協力をお願いいたします。

結びにあたりまして、貴会の今後のますますのご発展とご活躍をご期待申し上げますとともに、本年が、会員の皆様方にとって良き一年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



日本柔道整復師会 顧問
京都府柔道整復師会 顧問
衆議院議員 伊吹文明

新年明けましておめでとうございます。京都府柔道整復師会の先生方にとり、本年が良いお年であることをお祈りし、変わらぬご厚誼をお願い致します。温かくお支えいただいた多くの皆さまのお蔭で、私の政治活動も32年となりました。去年衆議員議長を辞した後も、与野党の同僚、諸官庁、各種団体のご相談や講演活動等で、お蔭さまで元気に多忙な毎日を送っています。

私は初当選以来、日本社会に受け継がれてきた日本人の心根や矜持を大切に、競争社会・市場経済の避けえぬ弊害を抑え、公正で温かい社会を実現し、自助の気概と自己抑制を失わぬ品性のある国民による品格のある「日本国のかたち」を目指してまいりました。

歴史上繁栄した国はあっても、繁栄し続けた国はありません。成熟し豊かになった国が陥る三つの落とし穴に、今の日本も直面しているように思えます。長寿少子化による労働力不足、豊かさのなかでの勤労意欲の低下と賃金の高騰、その結果としての生産拠点の海外移転、社会保障予算の増加に伴う財政赤字等々。この三つは国家の基礎体力をじわじわと蝕みます。日本がこの歴史の必然を克服し、先進熟成国家の落ちた落とし穴を避けることができるかは、日本人のこれからの努力、生き方に懸かっています。それを左右するのが政治であり、政治家にも、その政治家を選ぶ国民にも、後生に対して大きな結果責任が課されていると言ってもいいでしょう。今年も日本国と国民のために微力を尽くしてまいりますので、宜しくご指導をお願い申し上げます。

本格的な少子・長寿社会、人口減少時代においても、安心して医療が受けられるには、医療提供者、保険の管理者、患者であり最終負担者である国民が公平に負担を分かちあい、医療財政の基盤を確かなものにしておかなければなりません。保険料 税による負担 窓口での自己負担のバランスは、国民の勤労意欲を維持する観点からも、十分な検討が必要となります。

永く国民に受け入れられてきた柔道整復術も、療養費払いという保険制度に基盤をおいている以上この例外ではありません。将来とも安定した治療法として国民に評価されるためにも、先生方の一層のご研鑽をお願いし、私も政治の場で引き続き先生方のため、患者さんのため努力したいと存じます。

結びに、先生方のご健勝をお祈りし、新年のご挨拶と致します。

子雀の 障子に映る 初陽かな

新年のご挨拶



衆議院議員 谷垣 禎一

京都府柔道整復師会の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には柔整を通じて地域医療の拡充に大きくご貢献いただく傍ら、私の政治活動にも力強いご支援を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます次第です。

いま、少子高齢化によりわが国の社会福祉・医療制度の変革が迫られる中、貴業界に於かれても何かとご苦勞を頂いていることと存じますが、多様化する地域住民のニーズに対応すべく今後も変わらぬお力添えの程、お願い申し上げます次第です。

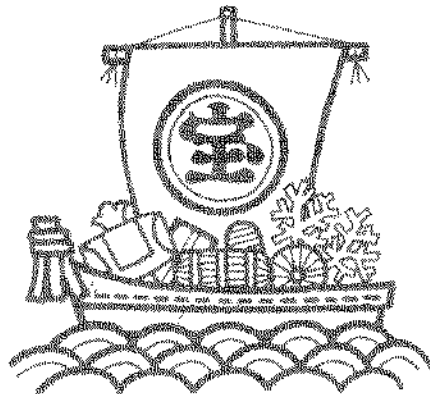
さて、昨年も国の内外共に様々な出来事の中、目まぐるしく過ぎてまいりました。

国外ではフランスに於けるイスラム過激派組織によるテロ事件は世界を震撼させ、国際社会はテロ対策、或いは国際紛争の沈静化に向け大きく動き始めました。

また、IMFが中国通貨「人民元」を主要通貨に認定するなど、中国の驚異的な進出は、世界経済に大きな影響を及ぼしております。

こうした国際情勢の大きな動きの中で、私共は自国の繁栄のみでなく世界平和にも貢献すべく平和安全法制を成立させ、また、グローバル経済に向け、環太平洋パートナーシップ協定も大筋合意し、いよいよ交渉も本格化させるなど、国際情勢に即した対応により国の繁栄と国際平和に貢献できるよう全力を尽くしているところです。

今年も課題多き幕開けとなりそうですがどうか変わらぬご支援ご叱正のほどお願い申し上げますと共に、皆様のご多幸と、京都府柔道整復師会の益々のご隆盛をお祈りし、ご挨拶と致します。



新年のご挨拶



衆議院議員 田中英之

新年あけましておめでとうございます。

京都府柔道整復師会の皆様におかれましては、お健やかに輝かしくも平成28年の新年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、公益社団法人京都府柔道整復師会 長尾淳彦会長はじめ会員の皆様におかれましては、平素より私の諸活動に温かいご理解とご支援を賜っておりますことに心より御礼申し上げます。

さて、去年は京都府民の長年の夢でありました京都縦貫道が全面開通に至りました。「地方創生」というキーワードが多く飛び交うようになってまいりました昨今、縦貫道の完成は渋滞緩和や緊急避難路の拡充、都市間アクセスの時短実現により観光産業の発展や企業誘致等の雇用拡大につながるものと大きく期待されておりますが、私も地方創生特別委員会に所属する中、地方に潜在する魅力を引き出し、いかに東京一極集中と地方の人口減少に歯止めをかけるか、について議論を重ねさせていただいております。

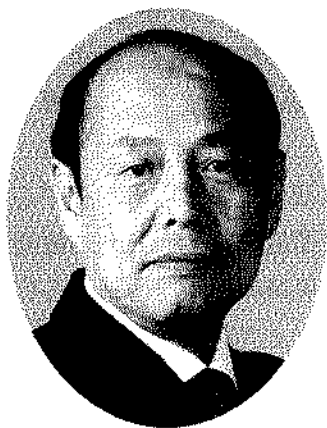
そこで住み慣れた地域に長く安心してお住まいし続けていただくためには、超高齢社会の到来が予測される中であって、身体機能改善によるケガの防止等の介護予防をすることも非常に重要であります。日本に古く存在する柔道整復術が人のからだに潜在する能力を引き出し、心と体を元来の状態に整え、健康を長く持続させる治療法として大変効果があるものと、大きく期待されております。

2019年にはラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピックと、我が国では大きいスポーツイベントが控えております。スポーツはプレイする人にも見る人にも夢と希望を与え、青少年の教育や地域の意識といったものにも大きく影響するものと存じます。

柔道整復師の皆様におかれましては、今後も地域に根付く夢と希望、また、安心の発信基地として、大いに活躍されますことを心より念願いたしております。私も衆議院議員として、京都をはじめ日本の為に、地域の皆様の思いを活かし精一杯努力してまいりますことを決意として皆様にお誓いしたいと存じます。

結びに、京都府柔道整復師会の一層のご盛昌と会員各位のご健勝ご多幸を心より祈念し、新年に寄せるご挨拶といたします。

新年のご挨拶



参議院議員 二之湯 智

新年あけましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

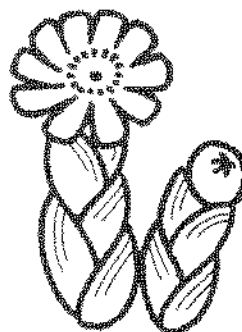
平素より、自由民主党ならびに私の活動に対しまして、格別のご指導ご協力を賜り心より御礼申し上げます。また、昨年の統一地方選挙におきましては、京都府柔道整復師会役員・会員の皆様方にご支持ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

京都府柔道整復師会様におかれましては、長尾淳彦会長を先頭に、日頃より柔道整復学術・技術の研鑽に精力的に取り組まれ、国民医療の向上はもとより、各種研修会活動や柔道を通じた青少年の健全な育成を目指す社会貢献活動などの多大なご尽力に深甚なる敬意を表します。

さて、戦後70年を経て、世界の安全保障環境は大きく変化し、国内でも経済再生や人口減少など克服すべき課題が数多くあります。特に、経済においては、物価の上昇に賃金が追いつかない等、京都も含めた地方の実態経済は大変厳しく、これまでのアベノミクスの成果に加え、「新三本の矢」により、今後の大きな目標である「一億総活躍社会」を実現し、国民の負託に答えていかなければなりません。

これからも京都の限りない発展と京都府柔道整復師会事業の推進のため、全力で取り組んで参りますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい1年になりますようお願い申し上げますとともに、京都府柔道整復師会様の益々のご発展と、会員の皆様方のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会顧問
参議院議員 西田昌司

平成 28 年の新春を謹んでお祝い申し上げます。

京都府柔道整復師会の皆様には、日頃より格別のご芳情を賜り、心から感謝いたしますと共に厚くお礼を申し上げます。

貴会におかれましては、長尾淳彦会長を中心に会員の皆様が力を合わせ、柔道整復への社会的要請に応えながら、災害救護や防災訓練への協力、さらには各種スポーツ大会のボランティア救護活動など、さまざまな活動を通じて国民の健康増進に貢献されており、その功績と情熱に心より敬意を表します。

現在、わが国は世界にも類をみない長寿国家となりました。国民の長年の努力の末、安心して暮らせる豊かな社会が実現したのであります。この社会の中で、

古くは「ほねつぎ」、今日では「整骨」「接骨」と呼ばれ、国民の暮らしに根付いた伝統医療として柔道整復が地域の人々のケガの予防や治療、健康増進に大いに貢献してきたことは言うまでもありません。さらに、地域の人々から身近な存在として、親しまれ、信頼される治療所としての役割に大きな期待をいたしております。

今後とも柔道整復の業務を通じて府民の健康増進と住みよい社会の構築に寄与して頂きますよう、心よりお願いいたしております。私ども政治に携わる者も、国民経済を再生し、国民生活の向上を実現するため全力を尽くす所存であります。

結びにあたり、皆様より更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、京都府柔道整復師会のご発展と、会員皆様方のより一層のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶



京都府議会自民党議員団
代表幹事 田中英夫

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の先生方におかれましては、平成28年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

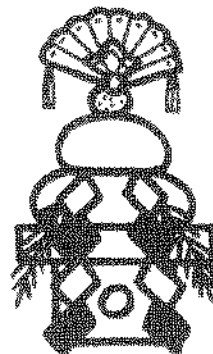
本年が先生方にとりまして素晴らしき良き年となりますよう年頭にあたり心よりお祈りいたします。

柔整師会におかれましては公益社団法人として公共の福利のために日々ご活躍いただきつつ、先生方には日頃より地域に密着した医療や救援救護、青少年育成活動など幅広いご活動を通じて府民市民の健康と安心安全の推進にご貢献いただいているところであり、改めまして深甚なる敬意と感謝を捧げる次第です。本年もより一層のご活躍あらんことをお祈りいたします。

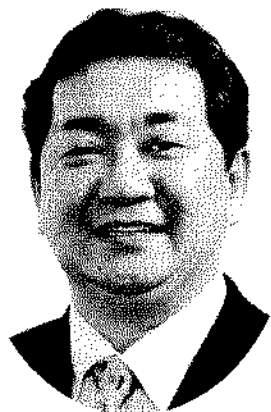
昨年は春の統一地方選挙におきまして、大変あたたかいご支援を賜り、誠にありがとうございました。我々自民党府議会議員にとりまして日頃よりの皆様のご支援は極めて有難く深く感謝申し上げます。おかげ様で過半数には少し届きませんでした。60議席中28議席を確保し、府政における重要な位置を占めることが出来ました。今後とも皆様のご意見も賜りつつ、京都府政の発展に努力邁進してまいりますことを改めてお誓いいたします。誠にありがとうございました。

又、本年は京都市長選挙、及び参議院議員選挙の年です。常々我々自由民主党に力強くご支援いただいておりますこと心より感謝を申し上げ、今後ともどうぞ変わらませぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして最良の年となりますよう、併せて長尾淳彦会長様を先頭に公益社団法人京都府柔道整復師会の益々のご発展と会員先生方のご繁栄を心よりお祈りし新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会顧問
京都府議会議員 片山 誠 治

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の諸先生方におかれましては、輝かしい新年をご家族お揃いでお健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

貴会におかれましては常日頃より長尾淳彦会長様を中心とされまして、柔道整復を通じての施術や治療、また後進の育成にとどまらず、社会情勢を的確に捉え、未来を担う青少年の健全育成や介護現場に携わっておられる方々への介護予防活動、救護活動など多岐にわたる公益性を伴った諸活動を展開されておられますことに、衷心より敬意を表します。

日本の高齢化は先進国でも最も早く進行し、今後もどの国よりも高い水準で上昇が予測される昨今、京都

府民の特にお年寄りに対しての、健康増進と健全な体力維持のために、貴会が果たされる社会的役割は今後益々高まっていくものと確信しております。

府民が安心して暮らせる社会の一翼を担っておられる貴会におかれましては、本年も尚一層の充実した活動を続けていただきますよう心より念願いたします。

貴会からの推薦を賜り、昨年3期目の当選をさせていただきました。豊かで明るい京都府の実現と京都府民の皆様が長生きでき、そして安心・安全が担保される京都府の構築のために、情熱を持って鋭意努力・邁進して参りたいと決意を新たにしておりますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願い致します。

長尾会長様を先頭にされまして公益社団法人京都府柔道整復師会の更なるご発展と、会員の先生各位のご活躍を心よりお祈りいたしまして、年頭のご挨拶と致します。



新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会顧問
京都府議会議員 村田 正 治

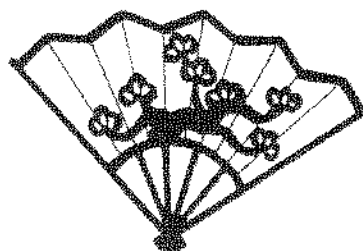
新年明けましておめでとうございます。公益社団法人京都府柔道整復師会の諸先生方におかれましては、輝かしい新年をご家族の皆様とお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

長尾淳彦会長を始め京都府柔道整復師会の皆様方には、平素から柔道整復師の資質向上や府民の健康保持増進はもとより、柔道を通じた青少年の健全育成活動やスポーツ大会における救護活動など多岐にわたる社会活動を積極的に展開されており、心から敬意を表します。

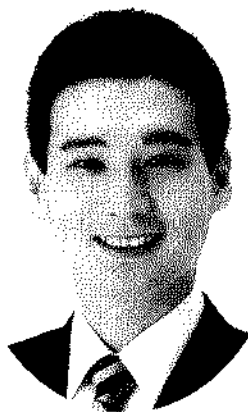
さて、2025年には団塊の世代が後期高齢者となる時代を迎えますが、これからの超高齢社会におきましても、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活していくためには、身体機能の維持など日常生活で介護予防を推進していくことが何よりも重要となってきています。柔道整復師会では、介護の現場で活躍する機能訓練指導員の育成や研修会、さらに柔道整復を通じて施術や治療、居宅介護支援などを行うことにより、府民の皆様が地域で自立した生活を継続できるようご尽力いただいています。さらに心身の健全育成活動や救急救護活動にも取り組まれ、府民の安心安全に向けたご活動を積極的に行っておられることに対し心から敬意と感謝を申し上げます。

昨年、府立山城総合運動公園で近畿府県合同防災訓練が行われ、私も参加をしましたが、柔道整復師会におかれましても救急救護隊がご参加いただきました。近年の異常気象に備え、私も貴会の顧問として府民の安心安全、そして健康で生きがいのある生活を送っていただける京都府を目指して、誠心誠意取り組んでいきたいと存じますので、今後ともご指導いただきますようお願いいたします。

結びに、公益社団法人京都府柔道整復師会のますますのご発展と、会員の諸先生のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして年頭のあいさつといたします。



新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会顧問
京都市会議員 橋村 芳和

新年あけましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年をお迎えになられましたことを心からお慶び申し上げます。

先生方におかれましては柔道整復を通じで治療を行う尊いお仕事により、市民の健康の増進のため、日々従事され、そのご活躍に感謝申し上げます。その社会的使命はより重要になっております。一層のご尽力をお願い申し上げます。

また青少年の健全育成が今ほど求められている時代はかつてない中になり、柔道を通じて子どもたちの育成に貢献されておりますことにも、深く敬意を表すものであります。

また、昨年に就任されました長尾淳彦会長のご活躍を祈念致しますとともに、大西辰博先生には長年にわたり会長として柔道整復師会の発展にご尽力賜り、厳しい環境の中にあっても一貫して自民党をご支援いただきましたことに対しても、重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年4月の統一地方選におきまして6期目の当選を果たすことができました。たいへん厳しい戦いであり、長尾会長自ら激励に駆け付けていただき、役員の方にも応援の弁をとっていただきました。特に地元の伏見区においては戸川和孝支部長を先頭に強力なご支援をいただいたおかげであると実感致しております。心より厚く御礼申し上げます。

京都市会では、自民党市会議員団の代表幹事に選出され、市政の発展の為に二元代表制の下で市長と議会が車の両輪として円滑な運営をすすめるべく取り組んでおります。京都市長選挙を経て来る2月に開会される定例会では、平成28年度予算が審議されます。日頃より皆様からいただいておりますお声をしっかり反映し、福祉と医療の先進都市京都の実現のため全力を尽くして参ります。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。結びに、京都府柔道整復師会の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶



副会長（筆頭） 柴田 宗宣

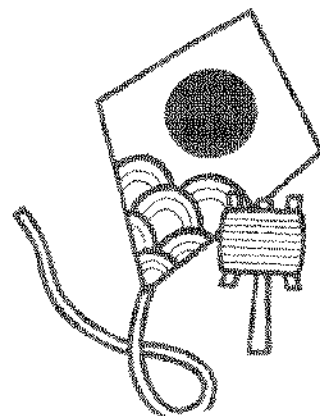
新年明けましておめでとうございます。会員の先生方ご家族の皆様には、お健やかに新年をお迎えになられましたこと、こころよりお慶び申し上げます。昨年は異常気象が原因となる惨事が目につくこともありましたが、日本人2人がノーベル賞を受賞するなど明るいこともございました。この2016年はどのようになるのでしょうか。もちろん社会全体の景気回復を望みますが、やはり我々を取り巻く環境を少しでも良くすることが先決だと考えております。

さて、厚生労働省の考えた市場原理には当てはまらず、我々の業界は飽和状態となりました。そのため本来の柔道整復師の業務からは想像も付かないような癒しやエステの看板を掲げた接骨院・整骨院が増え、臨床整形外科からはバッシングを受け、一部の心無い柔道整復師のためにマスメディアを騒がせ、療養費支払い審査の厳格化どころか、療養費受領委任払い制度を無くし償還払い制度にした方が良いと言われる方もおられます。

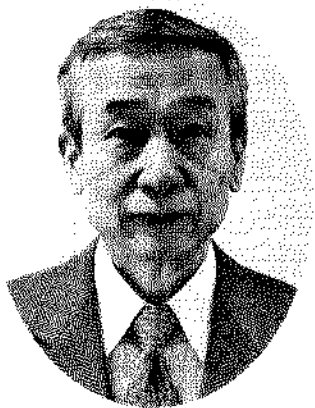
昨年4月に始動しました新執行部のテーマは

「柔道整復師の信頼の回復」です。我々の療養費受領委任払い制度は患者さんとの信頼関係で成り立っている制度です。その患者さんの信頼を失っては先程も言いましたが療養費受領委任払い制度どころか日本の伝統医療としての柔道整復が消滅してしまいます。毎日の丁寧な施術が信頼を構築し、その信頼が我々柔道整復師の社会に対して発言する時の担保となるのです。そして急がなくてはならないのが行政、保険者との信頼の回復です。行政、保険者の担当者の多くは本会の新入会の先生は勿論、ベテランの先生にも学術講習会や保険講習会を受講して最新の治療方法や保険情報を習得して行政機関や保険者に協力していることをご存じないので、これまで以上に公益社団法人所属と個人契約との違いを訴え続けなければなりません。そして本会の信頼を回復しなければなりません。一石二鳥に出来ることではないですが実行しなければなりません。

我々、柔道整復師は日本国が認めた国家資格です。医療人として日々の施術で患者さんとの信頼関係を構築することが、行政、保険者に対して信頼回復すると信じております。本年も諸先生方のご協力を賜りますことをお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



副会長
保険部長 林 啓 史

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

昨年平成27年6月7日開催の(公社)京都府柔道整復師会定時総会にて選任された役員で新執行部が発足いたしました。長尾淳彦会長のもと副会長・保険部長を兼務し、重責を担っております。長尾会長が掲げておられるスローガンの達成に向けて邁進し、会員の皆様の負託に応えていくことが副会長としての使命であると考えております。

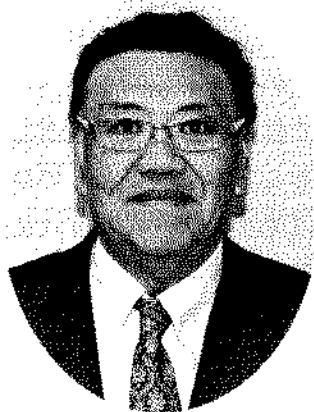
さて、昨年秋(平成27年10月25日)の保険講習会には、京都市保健福祉局 保健福祉部 監査適正給付推進課 適正給付推進担当課長 山本 久業 様 担当係長 田中 仙吾 様をお招きし、『京都市における柔道整復療養費の審査について』の演題で、我々柔整師に役立つご講演をいただきました。準備の段階から会員諸先生方の多大なご協力、また多数のご参加を賜りまして誠にありがとうございました。盛会に終了する事ができ、これも会員皆様方のお陰と感謝いたしております。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年、マスメディアでは、不正不当請求・架空請求・無資格施術の柔整問題等が多く取り上げられ、また不正請求団体の摘発と大変な年となり、行政では、柔道整復師法に基づき違法な広告等の取り締まりがさらに厳しくなりました。平成24年3月12日の四課長通達以来、返戻や疑義照会も激増、厚生(支部)局主導で個別指導・監査も実施されております。毎日、どこかで大小の不祥事が起こっています。過去を見つめて振り返るのではなく過去の轍を踏まないようにして行きたいものです。何事も変革のときであると言われ、組織においても「社長力」・「管理力」・「現場力」と力をつけ、「臥薪嘗胆」して仕事力を身につけましょう。

今、会員の皆様が求めている事は何か、皆様のご意見をお聞かせいただき、魅力ある会運営の一端を担っていかなければならないと考えております。《Communication is very difficult but very important》《意志の疎通は大変難しい、しかしそれは大変重要なことである》個々それぞれの考え方、意見は違いますが問題点を全会員が理解し、納得できる会を目標に尽力してまいります。皆様のご協力をいただき、山積している問題を着実に解決して参る所存でございます。何卒、皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

重ねて申しますが、昨今保険業務においても厳しい環境が続いております。日常業務におきましても、また療養費申請におきましてもルールを守り、モラルのある行動をとらなければなりません。我々、協定に基づく柔整師は勿論、契約に基づく柔整師も、施術時(受領委任)は「療養費の支給基準」に基づき施術録を記載し、良識のある柔道整復療養費支給申請書を作成していただきますよう、お願い致します。

新年のご挨拶



総務部長 中田 康人

あけましておめでとうございます。

旧年中は会員各位や関係諸団体の皆様に多大なるご協力を賜りながら、本会総務部活動を岡田総務副部長とともに行うことができました。年頭に当たり厚く御礼を申し上げます。

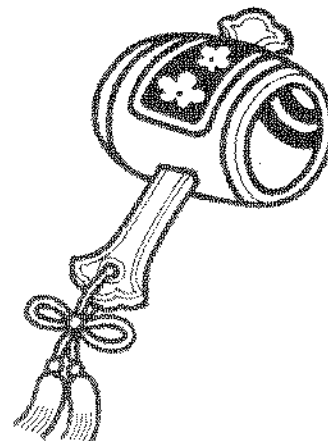
昨年、本会は長尾新会長の就任もあり人事の刷新が行われました。鴨長明の書いた方丈記の中の「ゆく河の流れ」に、「ゆく河の流れは絶えずして、しかも元の水にあらず。淀みに浮かぶ泡沫は、かつ消えかつ結びて、久しく留まりたる例しなし。」とあります。本会も今回の人事異動によって組織の活性化が図られましたし、新事業として行政や諸団体からの補助金・助成金に係る事業が開始されるなど、柔道整復という河の流れは途絶えることはありませんが、その流れは新しいものであり同じ状態ではないということを感じております。

以前にも本紙で紹介しましたが、昭和62年に制定された柔道整復師倫理綱領の前文に、「国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承し

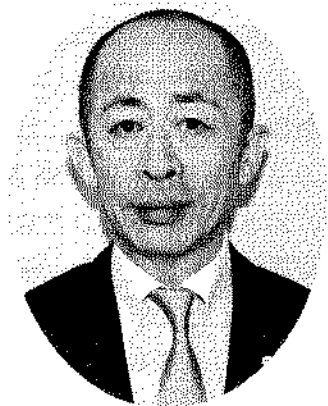
てきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。」とあります。ここに示されているとおり柔道整復術は民族医学に位置付けされ、また、WHO（世界保健機構）が発行した「伝統医療と相補・代替医療に関する報告」に日本の伝統医療として柔道整復が紹介されていることを見ても我々柔道整復師は日本の医療に貢献している訳ではありますが、今般、世間の柔道整復師に対する評価は芳しいものではありません。

申年に当たる今年も業界にとって厳しい年になりそうですが、長尾会長を先頭に、公益社団法人の会員であることを自覚して柔道整復師の名誉回復のために皆様と共に活動して行きたいと考えておりますので、倍旧のご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、関係各位の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶



事業部長
保険副部長 中村 英 弘

新年あけましておめでとうございます。

会員の先生方、ご家族の皆様、関係各位におかれましてはお健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、事業部及び保険部の運営に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年6月に長尾淳彦会長のもと、新執行部が発足し6ヶ月あまりが過ぎました。事業部は、柔道・介護・救護・居宅介護支援事業・地域介護予防推進センター事業などの公益目的事業を中心に運営させていただいておりますが、この事業を進めるにあたり、会員の先生方のご理解とご協力により成り立っているものと感謝しております。

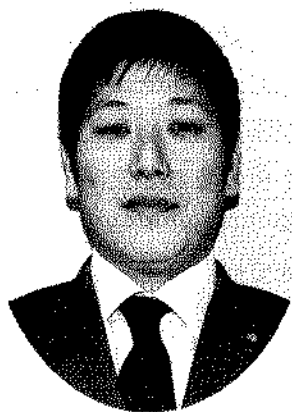
私たち柔道整復師が、地域住民の皆様の健康と生活上の安心・安全を守るべく、そして医療・介護・福祉のトータル的なパートナーになれるよう、また信頼されるよう精進していかねばなりません。本来の姿として日々の施術に携わることは基本ですが、現在は医療だけでなく介護・福祉の知識も不可欠なものとなっています。高齢化社会が進み、今後ますます増加するといわれる「認知症」に対しても、患者様や患者様の家族と接することが多いプロとして、専門的な知識が必要であります。昨年末より開催しております、「京都府健康福祉部医療課平成27年度在宅療養等従事者確保支援事業」の一環である「認知症対応力向上研修事業」は、まさしく今の私たちに求められている知識を得るに相応しい研修会であります。この研修を通じて得た知識や技術は必ず日々の施術に役立てていただけるものと確信しています。

また、機能訓練指導員としての知識と技術を今より一層ステップアップしていただけるよう、「機能訓練指導員フォローアップ研修」や「機能訓練指導員養成研修」なども今後企画していきたいと思っております。

日常の業務でご多忙とは存じますが、ご案内をさせていただきました折には、ぜひ受講していただきたく思います。

今年も、事業部・保険部事業運営に格別のご支援を賜りますことをお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



総務副部長
事業副部長 **岡田達也**

新年あけましておめでとうございます。

会員の先生方やご家族、施術所スタッフ、関係機関の皆様方におかれましては健やかに新年をお迎えになられましたことをお慶び申し上げます。

さて、昨年6月8日の総会にて承認された長尾淳彦会長のもと、新執行部が発足し初の新年を迎える事となりました。旧体制での柔道部・救護部・介護部・指定居宅介護支援事業所・伏見地域介護予防推進センターの5部署を統括した「事業部」が新設されることとなり、多岐にわたる業務を執行する必要があるため、中村英弘部長を筆頭に柔道・介護・救護の部員経験のある会員に援助していただきながら、第24回日整全国少年柔道大会・第5回日整全国少年形競技会、近畿府県合同防災訓練、京都府医療推進協議会イベント等の公益目的事業を成功裏に終わらせることができました。その他、以前より担当していた伏見地域介護予防推進センターにおいては体調不良にて休職中だっ

た職員も復帰する事ができ、従来通りの医療系国家資格保有者5名の職員で要介護状態・要支援状態にならない体づくりのお手伝いをさせていただいております。また、居宅介護支援事業所に関しては法令順守はもとより基準該当等のコンプライアンスにおける助言や常勤管理職の負担軽減に努め、推進センター職員同様により良い職場環境の構築を目指しております。

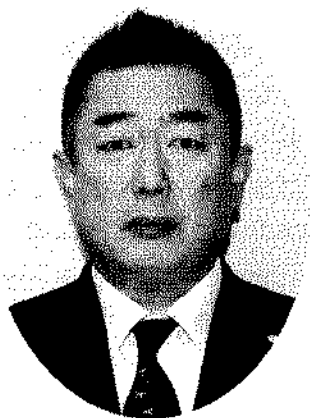
また、総務部副部長を長尾淳彦会長から拝名し、中田康人部長の指導を受けながら新たな会務の経験を積ませていただいております。

本年は、京都市において平成29年に完全移行される介護予防・日常生活支援総合事業の骨子が完成すると思われ、地域包括ケアシステムに協力し社会貢献できる柔道整復師を増加させる事を目的に会務執行させていただきます。昨年11月には反社会的勢力の資金調達に柔道整復師業が利用され、多くの方々の不信感を買ひ日常業務に支障をきたしましたが、ごく少数の不良柔道整復師の為に、本会会員の皆様方が築いてこられた信頼を崩すことが無いよう法令遵守は基より一層の学術の研鑽、社会貢献事業に参加し柔道整復師の地位向上と信頼回復を目指していただければと切に願っております。

理事職を5期9年間務めさせていただき、毎月の経理部からの会全体の取り扱い件数や請求金額は低下の一途です。これから数十年前の数字にV字回復するとは思えません。各々が危機感を感じ、総会や各種講習会研修会に参加し、より多くの情報を取り込んでいただくようお願い申し上げます。

年頭にあたり、理事として会務報告並びに会員の皆様へのお願いをもちまして新年のご挨拶に代えさせていただきます。

新年のご挨拶



経理部長 谷山和浩

あけましておめでとうございます。年頭にあたり会員の皆様にご挨拶申し上げます。

長尾淳彦新会長のもと、早いもので7ヶ月が経過しました。この間、無我夢中で初めての理事職を行ってきました。

我々を取り巻く環境は、架空リース取引や療養費詐欺事件が発生し柔道整復師への風あたりもきつくなってきています。

厚生労働省からの発表によると、平成26年末現在で就業柔道整復師は63,873人となり、平成24年末に比べ5,300人(9.0%)増加、柔道整復の施術所数は45,572か所で、前回の調査に比べ3,141か所(7.4%)増加しています。

柔道整復師一人一人が本来守るべき医療人としての質やモラルの低下が起り、しいては柔道整復師全体の信用の低下にもつながっていると感じます。

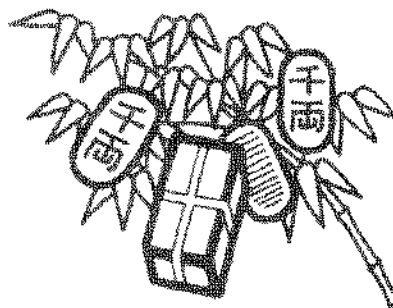
このような時代こそ、京都府柔道整復師会の果たすべき役割は、コンプライアンスの重要性と危機管理能力の充足を説き、柔道整復師が一致団結し、知識、技術を向上させ、同じ理念で一丸となって信頼される立場で地域医療に取り組んで行く事であると思います。

理事会の中では、京都府柔道整復師会の理事職に加え、担当の経理部で、毎月の理事会にて収支報告を行ってきました。出来るだけわかりやすい、資料作りと数字の表記を心がけ取り組んでおります。

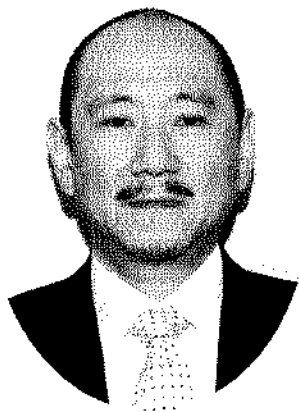
今年も長尾会長のもと、筆頭副会長の柴田先生の指導を受けながら、力の限り尽くす決意でおります。

また、役割は違いますが、本会と協同組合が協力し会員と組合員のためになるよう、私は、本会と協同組合の橋渡し役を積極的に努めて行きたいと思っております。

役員・部員・会員の皆様方のご支援をいただいで責務を全うしたいと存じますので、今年も何卒ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



新年のご挨拶



広報部長 中川 稔 貴

あけましておめでとうございます。

旧年中は、広報部にご理解とご協力をありがとうございました。また昨年は、京都府柔道整復師会ホームページのリニューアル作業にご協力いただき、ありがとうございました。

さて、環太平洋経済連携協定（TPP）の会議の大筋合意にいたりました。まだまだ今後、日本における保険制度も諸外国からの圧力がかかるかも知れません。私たち柔道整復師においても、安心して施術する環境が整うのか疑問や不安がつきまとっています。今一度、足元を踏み固める必要があるのではないのでしょうか。

そこで新年を機に、今後の柔道整復として大切な事をマクロな部分とミクロな部分を考えてみました。マクロな部分は、柔道整復師の社会

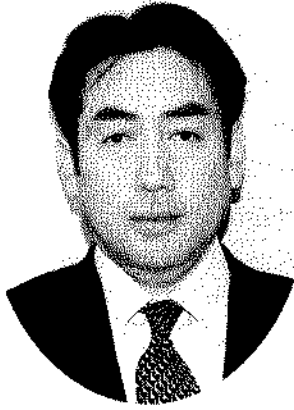
的な立ち位置。柔道整復師を代表する公益社団法人として、行政や保険団体との交渉、公益事業などの提案と実行を具現化していくこと。会員はもとより、柔道整復師すべてのイニシアティブをもって行動をすることが大切と思われます。ミクロな部分は、一人の柔道整復師としての患者さんとの信頼関係を築くと共に、常に学術知識・保険知識の情報更新をすることです。

そしてこれらは長尾淳彦会長就任以来のスローガン、「柔道整復師の信頼の回復」に通ずる事でもあると考えております。

広報部活動としましては、京柔整会報（広報機関紙）や京都府柔道整復師会ホームページにおいて本会の活動や情報を公開して、行政・保険団体・国民に柔道整復師・柔道整復術の周知とご理解いただく活動をしております。さらにホームページにおいて、本会会員と他団体・個人契約者の差別化をする為に、接骨院・管理者の情報を公開しております。今後も情報をお伝えすると共に、会員のお役に立てるように内外に発信してまいります。皆様からの、ご投稿やご意見をお持ちしております。

最後に、本会の理事になり半年がたちました。今後も執行部の一員として真摯に取り組む所存です。皆様のご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしく願いいたしまして新年の挨拶にさせていただきます。

新年のご挨拶



学術部長 綾田 剣一

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに輝かしい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は本会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。どうか本年も倍旧のご支援ご厚情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨年6月の理事選挙において選任いただき、新人理事として会務に携わり6ヶ月が経ちました。他の理事や事務局の方々に助けていただき会務を遂行することができ感謝しております。

昨年9月27日に京都テルサにて第40回近畿学術大会京都大会が開催されました。柔道整復

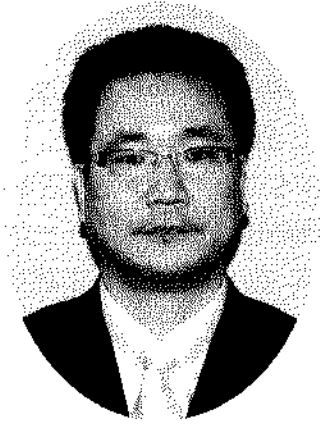
師や他の医療資格者、柔道整復師養成学校の教員および学生、一般の府民、市民の1,000人を超える方に参加していただき成功裏に収めることができました。これもひとえに会員の皆様の多大なるご尽力を賜りできたことだと心より感謝申し上げます。

団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。高齢者の尊厳保持と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で暮らし、自分らしい人生を最後まで続けることが出来るよう在宅医療・在宅介護への転換が進む中、地域包括ケアシステムの一翼を担う存在として柔道整復師が期待されております。学術部といたしましては、その期待に応えられるよう会員皆様の資質向上のため講習会および学会などの準備を進めております。開催の際には是非ご参加いただきますようお願いいたします。

柔道整復師を取り巻く環境は、まだまだ厳しく多くの課題がありますが京都府柔道整復師会会員の皆様のご理解とご協力をいただき、長尾淳彦会長をはじめ各理事が力を合わせて一丸となって乗り越えていく所存でございます。

最後になりましたが、皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶



学術副部長 田中弘昭

会員諸先生方やご家族の皆様におかれましては
お健やかに輝かしい新年をお迎えのことと、
お慶び申し上げます。

旧年中は学術部の活動に多大なるご理解・
ご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

昨年、第40回近畿学術大会が京都主管で行
われました。本会が社団法人から公益社団法人
に移行して初めて京都で行われた大会で、『病
まないカラダをつくる腸健康法～免疫力を高め
る生活習慣～』と題しまして、東京医科歯科大
学名誉教授、藤田絏一郎先生に特別講演をして
いただき、本会会員の先生方をはじめとしまし
て、他府県の先生方、養成学校関係の方、一般
府民・市民の方も加え総数1000名以上のご参
加をいただき、成功裏に終わることができまし
た。誠にありがとうございました。

さて、近年柔道整復師を取り巻く環境は悪化
の一途を辿っています。その悪循環を打開すべ
く新執行部では「柔道整復師の信頼回復」をス

ローガンに掲げ取り組んでいる最中ですが、昨
年11月、反社会的勢力が医療費並びに療養費
の不正受給をした事件を起こしました。報道さ
れていつも思う事ですが、ほんの一握りの心な
い人物が起こした事件ですべての柔道整復師が
同じように悪く思われる事は非常に心外であり
不名誉なことです。

しかし世間の厳しい論調も受け止めなければ
ならないのが現実です。一度失った信頼はなか
なか回復できません。

そういったことも考慮に入れ、我々一人一人
がモラルを持って、事実を真摯に受け止め、着
実に一歩ずつ実績を積み重ね、信頼を回復して
いくことが今求められていることだと思いま
す。

今後とも、日本独自の伝統医療をみんなで力
をあわせ、子の代、孫の代と脈々と受け継がれ
るように守っていこうではありませんか。

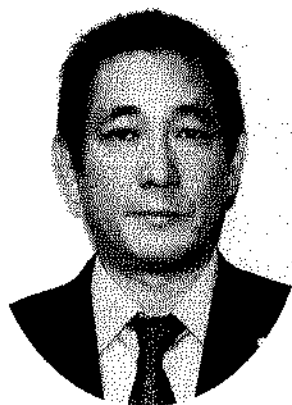
学術部では、今年度、京都接骨学会、柔整養
成学校との合同講習会の開催、補助金・助成金
関連事業、地域包括ケアシステムの準備などを
進めてまいりたいと思っております。

直近におきましては、3月に第66回京都接
骨学会を開催する予定です。担当支部は乙訓支
部、城陽支部、南山城支部で後は応募された先
生が発表者となります。奮ってご応募いただき
すようお願い致しております。

最後に、会員の先生方や本会の発展の為、学
術部でできる事は精一杯頑張っていく所存で
ございます。

今後共、ご指導ご協力の程、宜しく願い申
上げますと共に会員諸先生方の益々のご発展
とご健勝をご祈念申し上げます。

新年のご挨拶



監事 見原 誠

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

監事を拝命しまだ数か月ではございますが、会員及び関係各位の皆様のおかげをもちまして新人ながら何とか業務を続けてこられましたことに感謝申し上げます。

昨年6月から開催されたすべての理事会に出席させていただき、理事会での議事を見守らせていただきました。また、毎月の支出が適正であるか等の確認や10月には中田監事と共に執行部担当者の同席のもと中間監査も終え、会の運営及び会員の皆様の財産が適切に運用され守られているか確認しておりますことをご報告致します。

本会では、学術や実技を中心とする柔道整復師本来の資質の向上における事業はもちろんのこと、以前より取り組まれている柔道整復師の新たな活動の場である伏見地域介護推進予防センター、居宅介護支援事業のやわら会、施設への機能訓練指導員の派遣・養成、救護関連事業等に加え新たに地域包括ケアシステムへの参入に向けた取り組み、行政や保険者に対しても

我々柔道整復師や本会を正確に理解していただくため様々な取り組みがなされています。また、会館の老朽化も今後の大きな課題となります。就任時、会長が掲げられた、「今すべきこと」「今できること」の優先順位をしっかりとらえて「信頼回復」に努める。という目標に向け着実に進んでいると確信しております。まだまだ結果が見えてくるのに時間がかかるものもあると思われませんが、会員の皆様と共に見守り、また少しでもお手伝いできればと考えます。

今後も中田監事ともども、会員の利益、財産が守られるべく適切に本会が運営されているか、会員の皆様の目となり見守ってまいります。まだまだ至らぬことが多いとは思いますが本年も変わりなく、ご支援ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

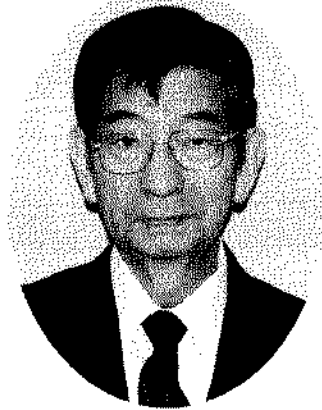
監事

中田 順二（弁護士）

見原 誠（北支部）



新年のご挨拶



京都府柔道整復師協同組合
理事長 関 弘 美

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては希望に満ちた新たな年をお迎えになられたことと存じます。

また、平素は京都府柔道整復師協同組合事業全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今年も旧年に倍加して協同組合のご愛顧をお願い申し上げます。協同組合は、今年も皆様の営業利益に繋がる事業を模索してまいります。

平成25年6月よりサーバーにウイルスが入って使用不能になりました。以前のインターネット販売のソフトを再構築するためには巨額の費用が必要であります。そこで全国中小企業団体中央会の補助金（6割国負担、4割組合負担）の交付申請をしておりまして、組合事業の必要性や重要性が認められ、補助金交付が決定しました。4月には組合員の皆様にご利用いただけるようになります。これが実現いたしますと任意の時間にインターネットで商品の発注がスムーズにできるようになります。また、購入額に応じてポイント制による割引を提供できるよう検討しております。インターネット販売は日本全国の柔整組合に先駆けた事業であり、共同購買の取扱高が増加し、活発化するものと期待いたしております。補助金交付を受けたことにより、国の監査や事業進捗の報告は5年間続き厳しいと思われませんが執行部一丸となり邁

進してまいります。拘束期間終了後は中央会の許可を得てインターネット販売ソフトの売却やレンタルができるようになれば大きな収入となるのではないかと皮算用をいたしております。

レセプト用紙の取扱いにつきまして、京都府柔道整復師会執行部の先生方にご理解をいただきまして、協同組合独自で作成から販売まで組合事業としてできるようになりました。今まで以上に上質で安価な用紙の提供が出来るよう努めてまいります。また、近畿柔道整復師協同組合連合会が互いに更に協力し合う話し合いが行われております。

鍼灸部の発足以来相当の年月が経過いたしました。初期に予想されました懸念は全く無くレセプト請求業務、審査業務、支払業務が行われております。請求者数や請求枚数もまだまだ多くはありませんが、ご利用いただいている組合員の先生方に満足していただける事業が行えているものと思います。

柔道整復師の業界はすでに暗黒の時代に入っており、柔道整復師を取り巻く社会的、経済的状況は年々厳しいものとなっております。

柔整人口の過大化、療養費の増大、レセプトのチェックと請求条件の厳格化、支払団体等の干渉など枚挙に暇がありません。収入の激減のために廃業を余儀なくされる組合員も出てきております。どうすれば組合員の事業運営の手助けになるかを真摯に検討してまいります。組合員の皆様が経済的に落ち込めば、協同組合もまた然りであります。昨期は収益を上げることができず無配当でありました。組合を預かる者として誠に恥ずかしいことでもあります。

柔道整復師として法的に許容された仕事は前向きに対応を考える必要があります。たとえば介護の事業に参加できるのであれば参入し、その場で誇りある柔道整復師としての能力を大いに発揮することが出来ればまた利益につながると確信しております。

今年も組合執行部及び事務局一同、皆様のために頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

最後に、今年協同組合は役員改選期であります。商才と活動意欲のある組合員は立候補をお願いいたします。

「原 健先生を偲ぶ会」開催

平成 27 年 9 月 26 日(土)リーガロイヤルホテル京都において、公益社団法人日本柔道整復師会と公益社団法人京都府柔道整復師会による「原 健先生を偲ぶ会」が行われました。当日は、公益法人日本柔道整復師会の役員と全国柔道整復師団体役員、京都府柔道整復師会役員・顧問議員と関係団体役員が参集して、原健先生のご功績を讃えるとともにご逝去を悼む会となりました。

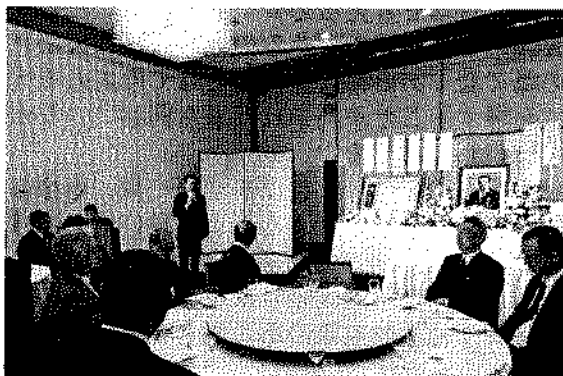
会場には「日本で生まれ育った国家資格である柔道整復 Judo Therapy は 2002 年世界保健機関 WHO で日本の伝統医療として認知されました」の大旗が揚げられていました。原先生は柔道整復術を全世界に「柔道セラピー」「柔道セラピスト」として周知させる活動にご尽力され、WHO（世界保健機関）の『伝統医療と相補・代替医療に関する報告』では、日本の伝統医療、民族医療として認知されています。この大旗は翌日の近畿学術大会京都大会のメイン会場にも掲げられていました。

開式となり故人に黙祷を捧げたあと、偲ぶ会委員長 工藤鉄男 日本柔道整復師会会長の追悼の辞があり、山田啓二 京都府知事、門川大作 京都市長、衆議院議員 伊吹文明先生、自民党幹事長 谷垣禎一先生より追悼の言葉がありました。その後、出席者一同で順次哀悼の意をこめて献花が行われました。

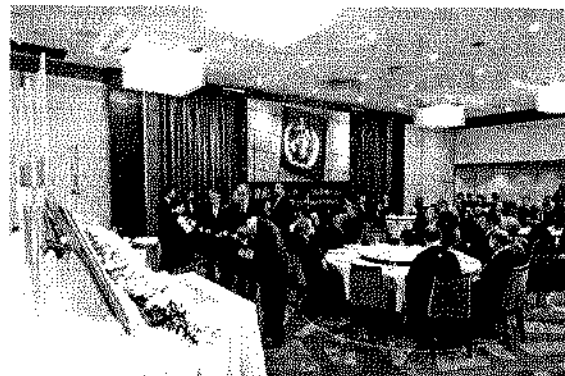
偲ぶ会委員長 長尾淳彦 京都府柔道整復師会会長より「日本の中からだけ見るのではなく、世界から柔道整復師を見てもらうための WHO。しっかりと勉強していたら堂々と自信をもって『柔道整復師』と言える。」など原先生から頂いた言葉を披露するとともに「原先生の意思を継ぐ世代として『日本で生まれて日本で育った国家資格、柔道整復師の事を、もっともっと告知しよう、広報しよう』と会を催しました。たくさんの方に来てもらい、原先生も喜ばれていると思います。ありがとうございます。」と謝辞を述べられました。

衆議院議員 田中英之先生より、献杯のご発声があり食事会が始まりました。会場では原先生との思い出話や、柔道整復、地域の福祉に貢献されたお話など尽きることなく和やかな空気が会場に流れていました。閉式の辞は偲ぶ会副委員長 萩原正和先生より、本日ご参集いただきましたお礼を述べられ「原 健先生を偲ぶ会」は終了しました。

最後に「学ぶことをやめる時が 現役を辞める時」生涯現役でした原健先生のお言葉です。



謝辞 長尾淳彦会長



献花風景

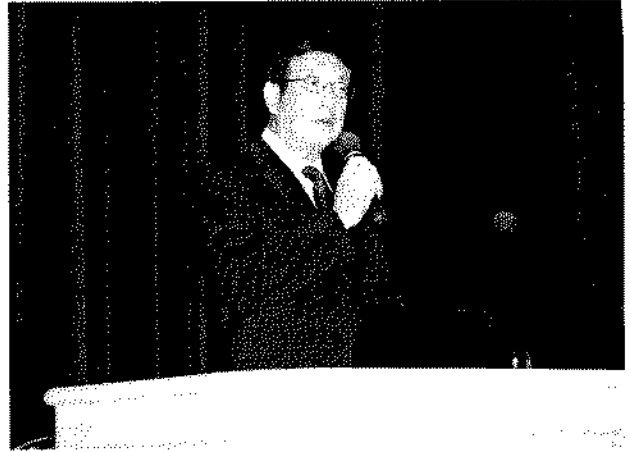
第40回 公益社団法人 日本柔道整復師会 近畿学術大会 京都大会

平成27年9月27日(日)午前10時30分より京都府民総合交流プラザ 京都テルサにおいて第40回 公益社団法人 日本柔道整復師会 近畿学術大会 京都大会が開催されました。メイン会場は第一会場のテルサホールで行われ、東京医科歯科大学名誉教授 藤田紘一郎教授の講演、国際部活動報告、10名の論文発表が行われました。

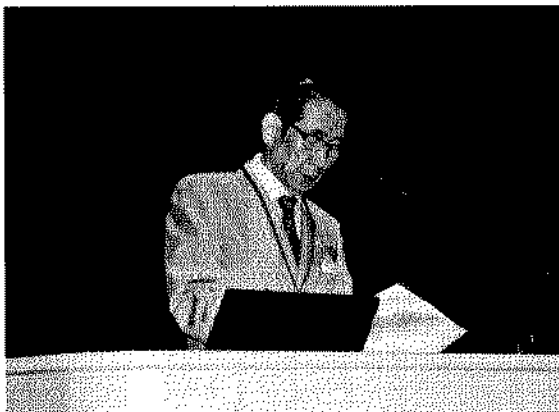
第二会場では、17組の養成校の教員・学生によるポスタープレゼンテーション。第三会場では超音波画像観察小委員会による活動報告会。第四会場では日整発表・報告がそれぞれ行われました。今回の参加者数は近畿の会員339名、一般・学生683名の合計1022名の来場がありました。

第一会場にて開会式が行われ、その後、藤田紘一郎教授による「病まないカラダをつくる腸健康法～免疫力を高める生活習慣～」と題してご講演いただきました。先生は寄生虫、免疫、アレルギーの研究で数々の本も執筆されており、メディアではサナダムシ博士としてご存知の方も多いのではないのでしょうか。最近になって増加している癌、アトピー、喘息、うつ病などの病気が増えてきた原因に免疫が関わっている事、腸内環境の重要性、清潔な生活が身体に及ぼす影響などのお話をしていただき大変有意義な笑いのある楽しい講演となりました。続いて、国際部の活動報告、各支部の会員による、論文発表が行われました。

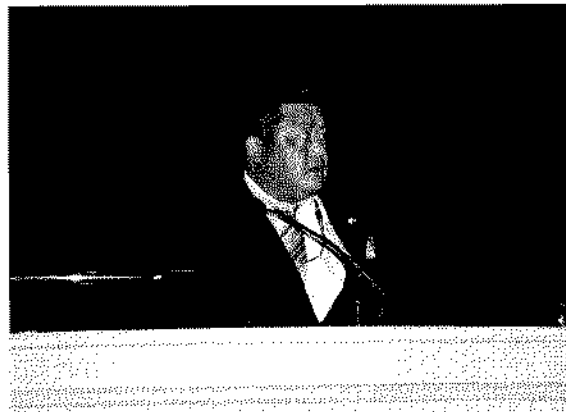
京都からは「第四中手骨骨折の1症例」井坂 豊会員、「通所型介護予防事業における二次予防事業対象者に対する運動介入についての検討」戸川和孝会員の2題が発表されました。第二会場では明治国際医療大学(2題)、明治東洋医学院専門学校(2題)、履正社医療スポーツ専門学校(1題)、京都医健専門学校(3題)、甲賀健康医療専門学校(1題)大阪行岡医療専門学校(2題)、京都仏眼医療専門学校(1題)、大阪ハイテクノロジー専門学校(2題)兵庫柔整専門学校(3題)のポスター発表が行われました。第三会場では超音波画像観察装置の基本操作法、特別講演、演題発表(4題)が行われた。第四会場では介護保険に関する発表が行われました。役員、関係者の皆様ご苦労様でした。



講演 藤田紘一郎教授



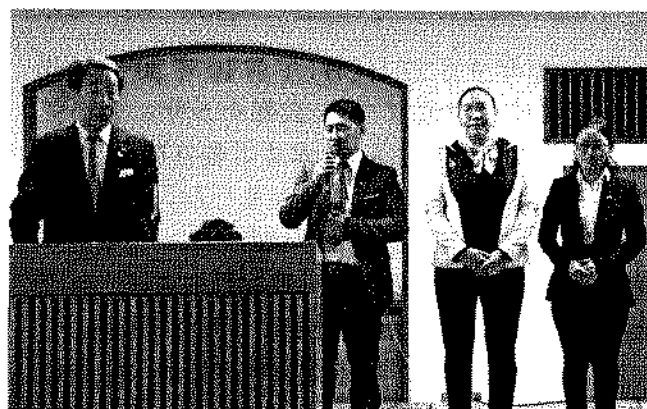
発表 井坂 豊会員



発表 戸川和孝会員

保険講習会

平成 27 年 10 月 25 日(日)午後 2 時より本会館 5 階ホールにおいて保険講習会が開催された。出席者は 237 名、内訳は会員：151 名、勤務柔道整復師：3 名、会員外：1 名、京都医健専門学校生：82 名であった。司会は多賀裕展保険部員である。開会の辞が柴田宗宣副会長により行われ、次に長尾淳彦会長より挨拶があった。内容はこの日の講習会での京都医健専門学校の学生の聴講受入れの件について、公益社団法人としてのあり方について、3 名のモンゴルからの研修生の紹介と日本伝統医療（柔道整復）指導者育成・普及プロジェクトの概要について話された。3 名の研修生よりそれぞれ日本語での挨拶があった。続いて会長より柔道整復の技術についての客観的有益性について述べられ、この日の講習会は当会会員の保険取り扱いにおけるコンプライアンスとモラルをもって業務に当たるためのひとつの指針を示している旨を述べられた。



長尾淳彦会長とモンゴルの研修生

次に林啓史副会長より本日の講師である京都市保健福祉局 保健福祉部 監査適正給付推進課 担当課長 山本久葉様、担当係長 田中仙吾様のご紹介が行われ、山本久葉様よりご挨拶があった。その後、田中仙吾様により「京都市における柔道整復療養費の審査について」と題したご講演が行われた。ご講演に当たって 34 ページもの資料が前もって配布され、資料に基づいて詳細な解説が行われた。

次に中村英弘保険副部長より「最近の保険情勢について」と題し、プロジェクターを使って資料を閲覧しながらいくつかの事項について説明が行われた。最後に林啓史副会長より連絡事項及び閉会の辞があり、保険講習会は滞りなく終了した。



林啓史 副会長



中村英弘 保険副部長



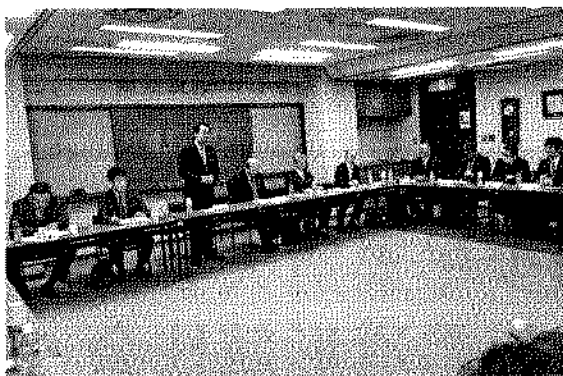
京都市保健福祉局
山本久葉 様



京都市保健福祉局
田中仙吾 様

『平成27年度 第1回 全体会議開催』

平成27年10月25日(土)午後4時半より、京都府柔道整復師会館3階中会議室において名誉会長・会長・副会長・理事・監事・支部長が参加して「平成27年度 第1回全体会議」が行われました。岡田達也総務副部長の司会により始まり、議題に沿って会議が進められました。長尾淳彦会長の挨拶があり、各担当部長より連絡・報告事項が支部長に伝えられました。最後に質疑応答があり、会議は終了しました。本会議は、執行部の連絡・報告を支部長から直接伝えて頂く事と、支部長が代表して支部会員からの質疑を執行部が応答をする場です。内容報告は、支部長よりあったと思いますので割愛させていただきます。



長尾淳彦会長の挨拶



会議風景

京都府医療推進協議会 イベント

明日からできる子育て支援「子育てファミリーをみんなで応援」

平成27年11月8日(日)京都市勤業会館一階 第二展示場にて京都府医療推進協議会イベント「明日からできる子育て支援」が午前10時から午後4時まで行われました。

京都府医療推進協議会は、京都府医師会、京都府歯科医師会、京都府看護協会、京都府薬剤師会、京都府鍼灸師会、京都府鍼灸マッサージ師会等の医療団体や福祉介護団体等が参加し、京都府柔道整復師会も参画し構成されています。

会場では様々なイベントが行われ、各団体のパネルを使った紹介・展示物・相談・検査のブースが設けられ、京都府柔道整復師会のブースでは、体力測定(体力年齢)をテーマに出展し、興味をもたれた来場者に握力・開眼片足立ち・立ち幅跳び・長座位体前屈の測定を行い評価・相談を実施しました。午前の参加団体ステージイベントでは京都府理学療法士会から「クイズ」、京都府柔道整復師会から「椅子を利用した転倒予防体操」を石田陽寛会員が壇上に上がり実演を行い、京都府薬剤師会から「正しい手洗いを身につけよう」が行われました。その後に第一部「それいけ、アンパンマンショー」、「スマホ時代の子供の育て方」をテーマに、ネットに情報が溢れ、子供たちが当たり前スマホのゲームを操る今、子供たちが笑顔で成長出来る為に何が大切なのかをパネルディスカッションが行われました。第二部「それいけ、アンパンマンショー」の後、参加団体ステージイベント午後の部が行われ、京都府鍼灸師会から「擦過鍼による認知症予防」、京都府作業療法士会からは「作業療法士による学校訪問」が行われ、最後にお楽しみ抽選会にて終了となりました。ブースイベント以外にも、子供の為の遊びの広場、

お医者さん看護師さんなりきり撮影会や飲食コーナーが設けられ、家族が有意義に過ごせる工夫をされていました。当日は雨にも関わらず、会場には小さなお子様から高齢者の方々が多数ご来場され、皆様喜んでおられる様子でした。小さなお子様のおられるご家庭の方々にとって大変有意義な時間となったと思います。



柔道整備師会スタッフ



体操指導をする石田陽寛会員

文部科学大臣杯争奪

第24回 日整全国少年柔道大会

第5回 日整全国少年柔道形競技会

厚生労働大臣旗争奪

第39回 日整全国柔道大会

文部科学大臣杯争奪第24回日整全国少年柔道大会・第5回日整全国少年柔道形競技会、第39回日整全国柔道大会が平成27年10月12日(月・祝)の体育の日に東京都文京区の講道館にて開催され、全国より選抜された選手達が一同に集まり優勝を目指し健闘しました。

午前8時40分より選手が入場し、国歌斉唱の後に開会式が始まり、工藤日整会長の挨拶、ご来賓のご祝辞と続き、優勝杯(旗)・準優勝杯(旗)の返還、表彰などが行われました。

開会式後、大道場にて少年柔道形競技会が行われ、京都府チームはBブロック6番目で、奥田丈翔選手(取)・藤大知貴選手(受)が出場しました。真剣な面持ちで一生懸命に形を披露しましたが、あと少し得点が伸びず惜しくも予選敗退となりました。

少年柔道形競技会と同時に6階学校道場・5階女子道場で行われた会員による団体戦は、近畿チームは1回戦より順調に勝ち進みました。決勝戦にて東京チームと戦い1勝1敗3引き分けとなり優勝決定戦が行われ、惜しくも負けてしまいましたが準優勝という輝かしい成績を残すことができました。試合後の表彰式で、本会の湊谷知幹選手が優秀選手賞を受賞しました。

午後からは7階大道場において、少年柔道大会が行われました。京都府チームは、前年優勝の青森県チームと戦い、京都府代表の選手達は日々の練習の成果を最大限に発揮し勝つために健闘しましたが、残念ながら0勝4敗1引き分けで1回戦敗退となりました。京都府チームの先鋒福田銀次選手は、佐藤選手と戦い優勢に攻めつつも惜しくも引き分け、次鋒溝口朔空選手は、沼端選手を相手に大きな体格差にも怯むことなく奮闘しましたが、横四方固めで一本負け、中堅の中川凱斗選手は、相手の横山選手との体重差が30kgありましたが果敢に攻めるも払い腰からの袈裟固めで一本負け、副将の片山大成選手は、増田選手を相手に一進一退の攻防の中、一瞬の隙を突かれ押さえ込まれて一本負け、大将の

山田晃輝選手は、お互い攻め合い好勝負の中、内股をかけられ頑張って耐えていたが有効を取られ優勢負けしました。

成績は残念な結果となり、6年生はこの大会への出場は最後となりますが、4年生・5年生の選手達は、京都に帰ってから更に一生懸命練習し、また来年この場所に戻ってきて、来年こそは優勝杯を持ってかえるとかたく誓って会場を後にしました。



各試合の監督と出場選手

日整全国少年柔道形競技会京都府チーム
メンバー

監督 井上 彰二

	氏名	学年
取	奥田 丈翔	6
受	藤大 知貴	6

日整全国少年柔道大会京都府チーム
メンバー

監督 岡田 達也

	氏名	学年
大将	山田 晃輝	6
副将	片山 大成	6
中堅	中川 凱斗	5
次鋒	溝口 朔空	5
先鋒	福田 銀次	4

日整全国柔道大会近畿チームメンバー

監督 杉尾 裕司

	段位	氏名	年齢
大将	4段	川口雅也	54
副将	6段	湊谷知幹	43
中堅	5段	平野大亮	40
次鋒	5段	磯田和伸	33
先鋒	2段	ガンバートル・フデレムンフ	28

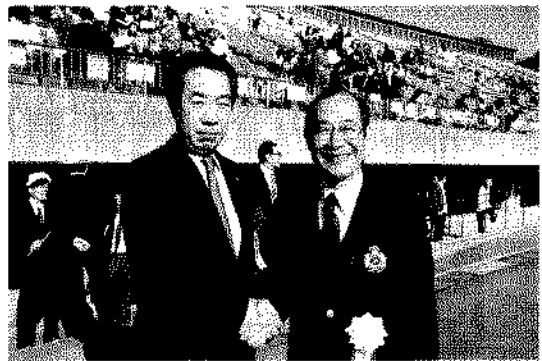
第27回市民スポーツフェスティバル救護活動報告

平成27年11月3日(火・祝)青空広がる秋晴れの中、西京極総合運動公園にて第27回市民スポーツフェスティバルが行われました。京都市からの派遣要請に本会より救急救護隊を派遣しました。

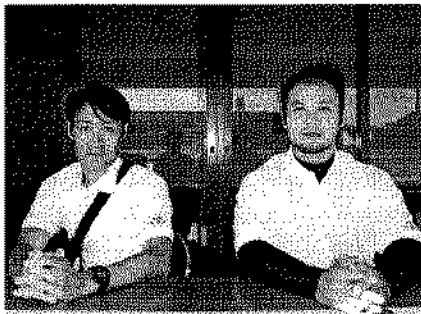
午前9時より開会式が行われ、長尾淳彦会長が来賓として参列しました。

開会式後、陸上競技場、ハンナリーズアリーナ、わかさスタジアム京都に分かれ、それぞれリレーカーニバルとジョギング大会、ソフトバレーボール大会、ソフトボール大会が行われました。陸上競技場には稲葉正和隊員と兼田旭紘隊員が、ハンナリーズアリーナには井爪英人隊員と大西裕二隊員が、わかさスタジアム京都には吉川秀則隊員と西村太詞隊員が救護にあたりました。

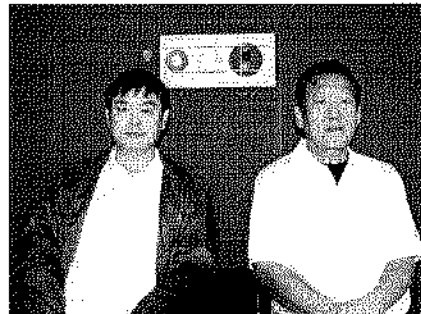
陸上競技場ではハムストリングスの肉離れ8名、下腿三頭筋の肉離れ1名、右足関節捻挫1名、右第3指PIP関節捻挫1名、右膝擦過傷1名の応急手当を、ハンナリーズアリーナでは右アキレス腱断裂1名の応急手当を行いました。わかさスタジアム京都では負傷者はいませんでした。午後4時からの閉会式を見届け、無事に救護活動を終わりました。



長尾淳彦会長 門川大作京都市長



稲葉正和隊員 兼田旭紘隊員



大西裕二隊員 井爪英人隊員



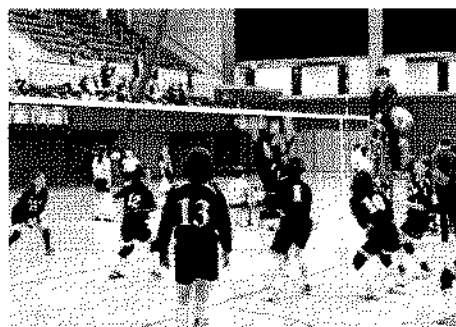
西村太詞隊員 吉川秀則隊員

平成27年11月15日チャンピオン大会 (女子バレーボール)における活動報告

救急救護隊 第二分隊 分隊長 岡村優輝

平成27年11月15日(日)に西京極のハンナリーズアリーナにて地域体育振興会のバレーボール大会が行われました。季節も初冬を迎えた為か、試合開始前後からたくさんの方が救護場所に来られ、足がよく響るとのご相談や、予防のためのテーピングをして欲しいとのご相談をいただきました。中には腰部の外傷からくるものや足首の捻挫起因と思われるものもあり、近隣の接骨院や医療機関の受診を勧めることもありました。

また、転倒による脳震盪や頸部のむち打ち症状のケガも1症例ずつあり、大会中外傷サポート、足の筋痙攣の対応が数多くあり柔道整復師として活躍の場を頂戴しましたが、筋痙攣によるものは運動療法のみをサポートしかできず、水分・塩分の補給や体の保温の指導をさせていただきましたが、その反面「なぜ、これほど多くの方が響ってしまうのか」を考えさせられる1日となりました。



「近畿府県防災訓練」に京都府柔道整復師会が参加

事業部員 田井 覚

平成 27 年 10 月 18 日(日)近畿府県防災訓練に事業部より岡田達也副部長、安本彰吾部員、山本俊広部員、兼田旭紘部員、井村亮太部員、田井 覚部員が参加しました。

夜明け前に出発し、会場付近まで来ると、消防や警察、自衛隊などあらゆる機関の人、車両が集結し、規模の大きさが分かりました。

私たちはビル、家屋倒壊救出訓練でのトリアージによるグリーンテントの担当を任されました。DMATと呼ばれる病院毎に構成された災害医療の特別チームが最前線で活躍され、その中の医師がトリアージを行い、意識あり、歩行可能な方が私たちのグリーンテントへ来られ、救護措置を施すという訓練でした。訓練中にDMATの活動を拝見させていただくと、我々も災害等の最前線でも活躍を期待される存在になるには、医療従事者としてレベルアップを図るべきだと感じました。

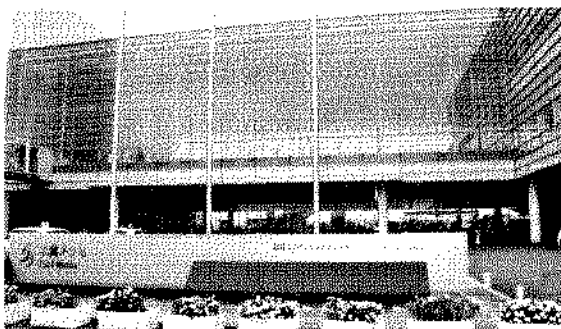
また、訓練の合間に数名の医師やDMATのメンバーと話をすることがありましたが、その方々が口を揃えて『柔道整復師の方は何をされるのですか?』と聞かれました。他の先生方も同様の質問を受けていたので、岡田副部長が京都DMATチームのブリーフィングにて『国家資格を有し、骨折、脱臼、打撲、捻挫、挫傷に対して非観血的に処置でき、特に電源が確保出来ない等の非常時においては、柔道整復術が有効である』ということを医療関係者や行政機関の方々、100名以上の前で説明されました。今回も良い機会をいただき、ありがとうございました。



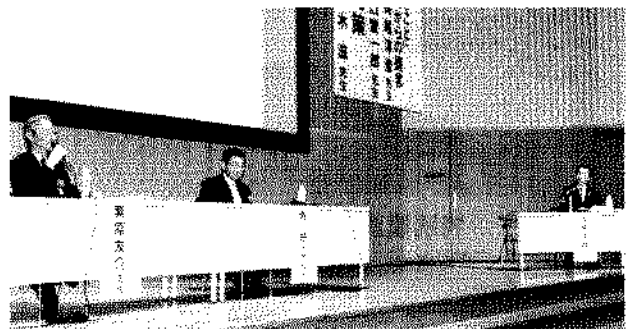
柔道整復師の『今できること・今すべきこと』

第24回 日本柔道整復接骨医学会学術大会

平成 27 年 11 月 7 日(土)・8 日(日)の両日、新潟県の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて、標記大会が開催されました。今回の会場は上越新幹線新潟駅から路線バスで約 15 分、新潟空港からタクシーで約 20 分のアクセスで、付近には佐渡へのフェリー発着港があります。



学会会場 新潟コンベンションセンター

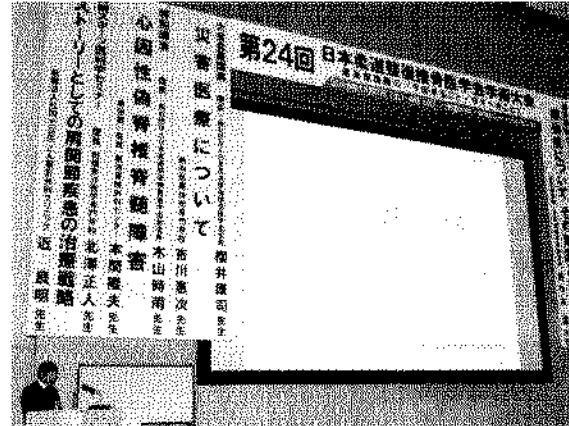


座長を務める長尾淳彦会長 (右)

本会の長尾淳彦会長は今大会の実行委員長であり、7日午後1時よりA会場で行われたシンポジウムの座長も務められました。内容としましては、今大会のメインテーマである柔道整復師の『今出来ること・今すべきこと』医師からの提言と題し、福岡県堺整形外科医院の堺研二先生、埼玉県栗原整形外科医院の栗原友介先生が、シンポジストとして、それぞれ自医院の柔道整復師と連携し、うまく機能している診療体制を紹介されました。おひとりのシンポジストの先生が急遽欠席されるという非常事態でしたが、座長の計らいにより、櫻井康司日本柔道整復接骨医学会会長のお話をうかがう事ができ、会場からも多くの質問があり、大変活気のあるシンポジウムとなりました。最後に堺先生より「柔道整復師が今すべきことは医師との信頼関係を構築することである」、栗原先生より「同一施設で医師の立てた方針を柔道整復師がしっかりと実践することにより妥協のない質の医療を提供することが可能になる」と結ばれ、シンポジウムは終了しました。

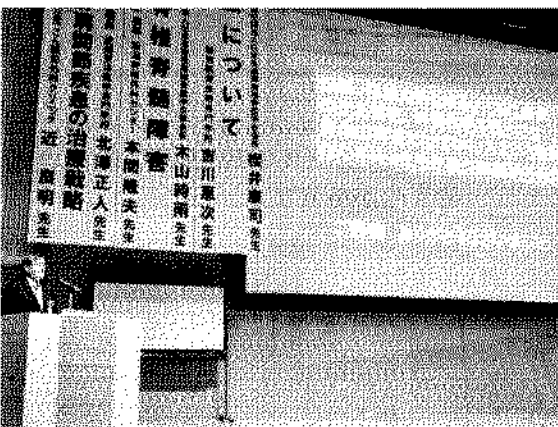


櫻井康司 接骨医学会会長とモンゴルの研修生

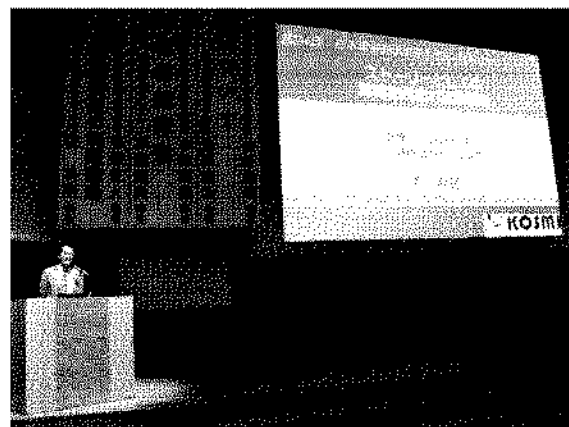


大会会長講演 吉川恵次先生

8日A会場・午前11時より、今学術大会会長講演として新潟医療技術専門学校の吉川恵次先生が「災害医療について」と題して講演されました。引き続きA会場・午後1時より、特別講演として新潟脊椎外科センターの本間隆夫先生が「心因性偽脊椎脊髄障害」と題して、また午後2時30分より、実践スポーツ医科学セミナーとしてこん整形外科クリニックの近良明先生が「ストーリーとしての肩関節疾患の治療戦略」と題して講演されました。どのご講演も我々柔道整復師にとって、為に成るお話ばかりで今大会も沢山のことを吸収し会場をあとにしました。学会発表は、A～F会場・ポスター会場・ワークショップ会場の8会場において8日の午後4時まで行われ、また同時に展示ホールでは最新医療機器や衛生材料等の展示販売がありました。今大会において京都府柔道整復師会会員の発表はありませんでした。
(広報部：波多野晃彦)



特別講演 本間隆夫先生



医科学セミナー 近良明先生

京都市社会福祉協議会主催「福祉の絆づくり事業」

— 助成団体・施設に公益社団法人京都府柔道整復師会が選ばれる —

京都市社会福祉協議会が主催する「福祉の絆づくり事業」において、公益社団法人京都府柔道整復師会は事業に賛同して助成団体・施設に選ばれました。平成27年10月18日(日)ひと・まち交流館京都2階大会議室、「福祉ボランティア・社協フェスタ」の式典で「福祉の絆づくり事業」贈呈式が行われました。事業贈呈式には、長尾淳彦会長が公務のため柴田宗宣副会長が出席されました。助成団体・施設は介護と福祉団体が主で、公益社団法人として今回は京都府柔道整復師会だけでした。



式典 京都市社会福祉協議会 村井信夫会長

今後の助成事業として「筋力アップ体操と福祉相談のサロン」を予定しております。皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

以下、事業の趣旨と団体名です。

趣旨：京都市福祉協議会では、京都市内の社会福祉を推進する団体・施設とこれまで以上に絆を深め、地域福祉をさらに進めていくため、福祉の絆づくり基金を活用して「地域交流の活動」や「先駆的な取組」に対する助成を行う「福祉の絆づくり事業」を実施しています。

団体・施設名：ケアハウス西院、小規模多機能型居宅介護衣笠シオン、高齢者福祉施設 本能、生活支援総合センター姉小路、公益社団法人 京都府柔道整復師会、西七条デイサービスセンター、京都市下京・西部地域包括支援センター、NPO 法人 京都コリアン生活支援センター エルファ、嵐山寮居宅介護支援事業所、健光園 あらしやま、社会福祉法人 京都視覚障害者支援センター、社会福祉法人 つみき福祉会、京都いたはし学園、社会福祉法人 美樹和会 (14 団体・施設、順不同、敬称略)



柴田宗宣副会長 (中央)

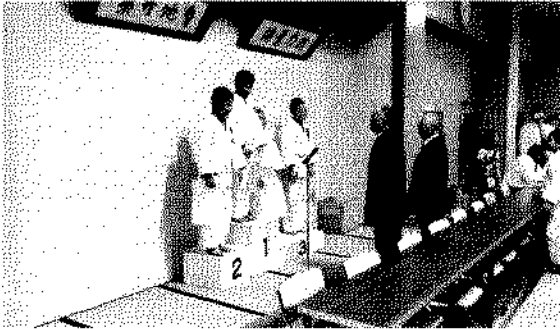
第34回 舞鶴学童柔道大会の救護活動報告

北丹支部 村上由一

平成27年10月4日(日)午前9時から、第34回舞鶴学童柔道大会が開催され、鈴木和行会員と村上由一会員が、救護隊員として参加しました。

当日は、朝早くから多数の小学生が集まり、日頃の練習の成果を競い合いました。午前中は団体戦(上級の部、下級の部)及び女子個人の部があり、午後から男子個人の部が行われました。

試合中は、本部席の横で試合を観戦しながら待機しました。何度か「危ない! 怪我しそう」と感じる時がありましたが、幸い負傷者はなく無事に救護活動を終了しました。



「八幡市柔道大会」救護活動報告

救急救護隊 第六分隊 分隊長 国本一路

去る9月20日(日)、八幡市民体育館において第38回八幡市柔道大会が開催されました。

出場選手は幼児から中学3年生まで幅広く、約450名の選手たちが手に汗握る熱戦を展開しました。この歴史と伝統ある柔道大会の救護班として、城陽支部から私と井上尚樹隊員が派遣され、負傷者の処置にあたりました。

午前中は幼児乱取り、小学生低学年団体戦および高学年団体戦が行われ、午後からは小学1年生～中学3年生までの各学年による個人戦が行われました。

この中で、骨折(疑)4名を含む負傷者21名の処置をしましたが、これだけの出場選手に対して2名の柔道整復師で処置をするのは限界があると感じます。幸い本会会員であり救護班として数々の実績を残されている菅野泰二郎会員が、助っ人として我々を援護して下さり助かりました。

また昨今問題となっている脳震盪を起こした選手に対する判断基準の把握や、柔道大会で救護をする上で柔道のルールを把握しておく必要があるなど、救護班として熟知しておくべき事項の多さを改めて痛感しました。

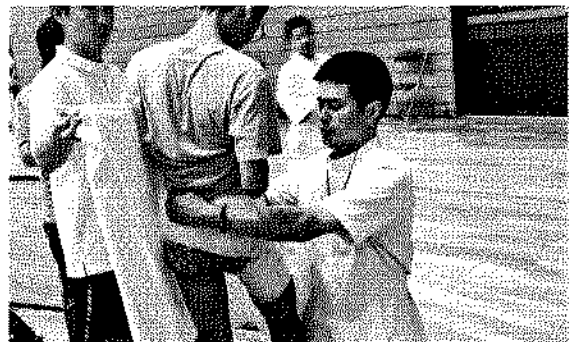
これは京都府柔道整復師会救急救護隊の全体の課題として、今後取り組んでいく必要があると思いました。



国本一路隊員 井上尚樹隊員



処置風景



処置風景

協同組合主催 Olympiaテーピング講習会

平成27年10月3日(土)午後3時より、京柔整会館5階大会議室において、京都府柔道整復師協同組合主催によるテーピング講習会が開催されました。

今回は株式会社HELIO JAPAN(ヘリオジャパン)様の専任講師である山上喜照先生をお招きし、同社のオリンピアキネシオテーピングテープを用いて、実技を中心に講演していただきました。内容としましては、首・肩・腰・膝・大腿部等、身体全体の痛みを治療しながら、テーピングで補助するという方法で、大変熱心にご指導して頂きました。従来のキネシオテーピングとは違った画期的な貼り方で、参加者の方々からもたくさんの質問が飛び交い、大変活気のある講習会となりました。山上先生、貴重なご講演ありがとうございました。また同時にテーピングテープの参加者限定即売会も行われました。今回の参加人数は組合員・組合員外を含め28名でした。

(協同組合理事 波多野)

山上喜照先生プロフィール

- ・1969年4月 柔道整復師免許取得
- ・1969年4月～1983年3月 北海道 国立療養所道北病院に勤務
- ・1983年4月 山上整骨院を開院し現在に至る



講師 山上喜照先生(中央)



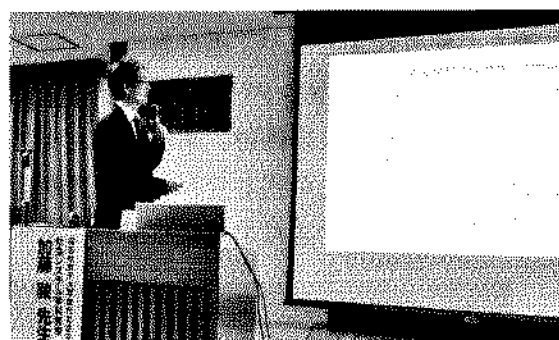
株式会社 ヘリオジャパン様

協同組合 中小企業団体中央会補助金事業講習会

平成27年10月25日(日)午後12時より、京柔整会館5階大会議室において、京都府柔道整復師協同組合のインターネット販売を再開するにあたり、京都府中小企業団体中央会の補助金事業の一環として講習会が開催されました。

同志社女子大学現代社会学部社会システム学科の加藤 敦教授をお迎えし、「ネットワークを通じた組合間取引について」と題しご講演いただきました。内容としましては、「共同購買システムについて、情報化だけでは価値創造にはつながらず、ITをいかに活用するかが重要であり、組合員間の知識共創をいかに進めるかがポイントになる」旨のお話であり、ワークシートを使用し参加者に発表の場を設けるなど、難しい内容をわかりやすく説明していただきました。最後に協同組合役員から「組合員の皆さまから貴重なご意見をお聞きすることができ、協同組合にとって大変有意義な機会となりました。今後の組合事業に反映できるよう努力します」と結ばれ講習会は終了しました。加藤先生、貴重なご講演ありがとうございました。

(協同組合理事 波多野)



加藤 敦教授



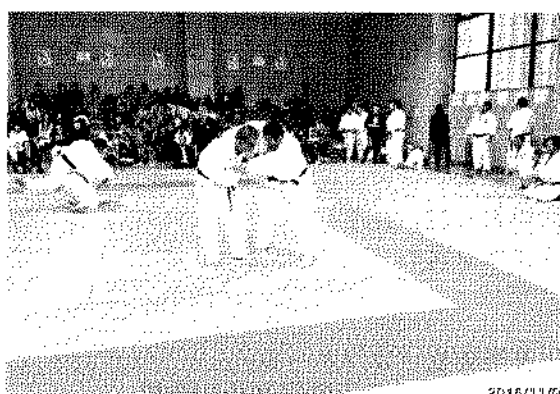
第48回 松谷杯柔道大会救護報告

第五分隊 北丹支部 盛次 俊 允

平成27年11月3日(火)午前9時30分から舞鶴文化公園体育館柔道場にて第48回松谷杯柔道大会が行われました。

今回は第五分隊の菅原不二雄、盛次俊允が救護活動にあたりました。

参加者は、中学生から一般まで男女135名が出場し活気ある試合の中、右手第一指打撲1名、左肘関節捻挫2名の負傷者があり、そのほかは大きな事故やトラブルもなく、無事大会を見届け救護活動を終了しました。



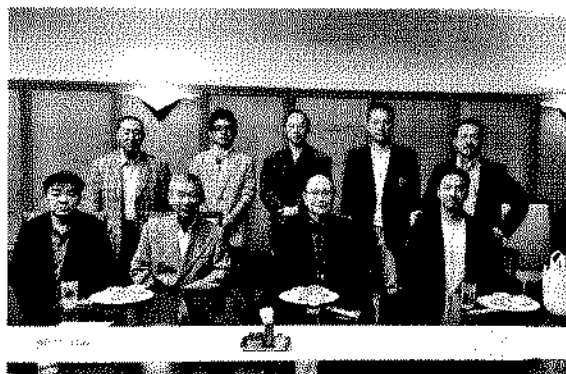
第18回 京柔整会ゴルフコンペ

京柔整ゴルフ同好会 山形 高明

平成27年11月15日(日)、第16回京柔整会ゴルフコンペを滋賀県甲賀市にあります名神竜王カントリー倶楽部で開催しました。

雨も心配されましたが、当日見事に秋晴れとまではいかなかったものの、気温も暖かく絶好のゴルフ日和の中、同好会メンバーで競技を行いました。熱戦が繰り広げられる中、下京南支部の藤田 徹会員が混戦を制し見事優勝、準優勝は北支部の田鍋雅裕会員という結果になりました。

コンペ終了後、表彰式と合わせて会食が行われゴルフ談議に花を咲かせ、林啓史会長の挨拶で閉会となりました。次回は4月を予定しておりますので、ぜひご参加の程をお待ちしております。



参加者 集合写真



藤田 徹会員、林啓史副会長、田鍋雅裕会員

第17回 格趣書法会展開催

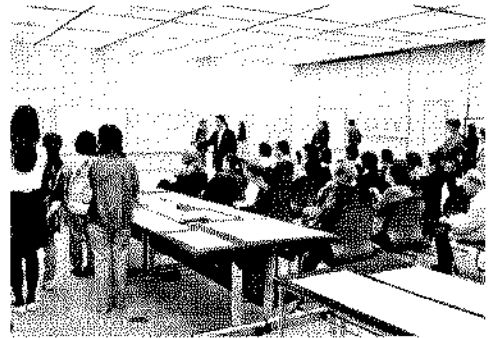
書道同好会 井坂 豊

日図博物館ならび京都府柔道整復師会後援のもと、みやこめっせ日図博物館において、10月11・12日の二日間、格趣書法会展覧会が開催された。当日は晴天に恵まれ書に關心のある方々が観覧に訪れ、午後一時より小野趣石先生から、出品作品の説明があり、作品の持つ意味、また字体の詩史等の解説が行われ、訪れた方々は熱心に聞き入り書の持つ奥深さに触れ、また小野趣石先生の古い時代より書の移り変わりを臨書した大作を前にして、その素晴らしさに呆然と立ち尽す姿が時として見受けられた。前回も触れたと思うが、当会館がこの地に建設されたのを期に、書道同好会が当時の会長以下約10名程で発足した。そのご指導役として、本会顧問の栗原壽雄先生の御世話で小野趣石先生の指導を受ける事となり、現在に至っている。発足当時の人々も何らかの理由で、一人減り、また一人と、現在では西先生と私のみの寂しい限りではあるが、頑張っている。書に興味の有る先生はぜひ参加していただきたいと思います。小野先生も大歓迎でご教授して下さるとの事です。中学また、高校等で書道部に属し、毛筆をと、思われる方は、ぜひ小野先生のご指導をお薦めいたします。もう一度毛筆を取る事でまた、日常生活とは違った世界を見る事が出来ると思います。

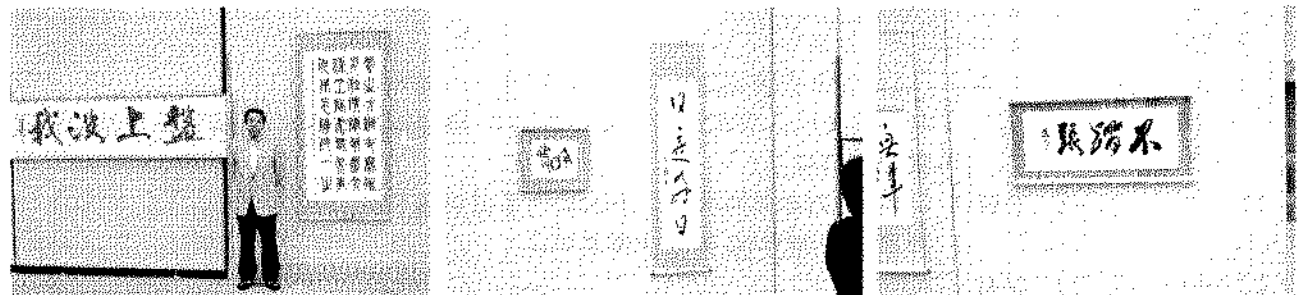
小野先生は書道界で文化勲章受章者の古谷先生に師事され、讀賣展、日展で活躍され、その後独立され格趣書法会を設立され、格趣書法会展覧会を開催（隔年開催）今年で第17回を数えるに至った。これも小野先生のご配慮で、あまり我々に負担が掛からないようにしたいとのことからである。

話しは少し脇道にそれるが、書をご教授賜わり、人前に自分の書いた物を見てもらう迄、至ったお陰で、9月に行われた近畿学会で知り合った発表者の方に記念に色紙をさしあげ、大変喜んでもらい友好を深めることが出来た。

書道教室は月に2回第1・第3火曜日午後2時より行っていますので、初めての方でも大歓迎で小野先生のご指導下さるとの事ですので、ぜひ参加して下さい。お待ちしております。



小野先生に依る各作品の説明が行われている風景



向かって左が西先生の大作
右が私の作品

私の小作品

西先生の小作品

ゴルフ同好会活動報告

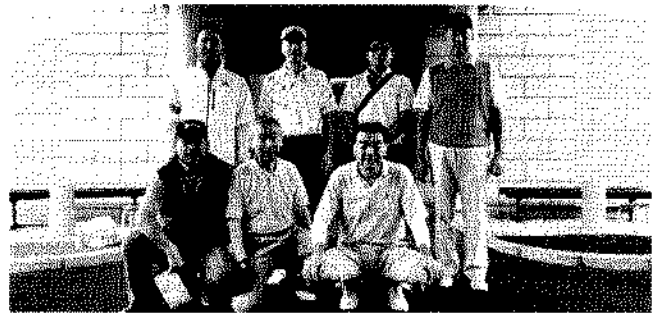
京柔整ゴルフ同好会 山形 高明

平成27年9月6日(日)、花屋敷ゴルフ倶楽部よかわコースにて第8回日整近畿ブロック親善ゴルフコンペが兵庫県主管で開催されました。

京柔整ゴルフ同好会からは、林啓史同好会会長(下京)を先頭に伊藤友雅会員(城陽)・田鍋雅裕(北)・林哲也会員(南丹)・藤田徹会員(南)・山形高明会員(左京)・山田順久会員(中京)の7名で参加してきました。



当日は雨で悪天候の中、苦戦させられましたが見事、団体戦で優勝、個人戦でも藤田会員が優勝、林哲也会員が準優勝・山田会員が3位という輝かしい成績で他県を圧倒してきました。



京都府健康福祉部医療課 平成27年度在宅療養等従事者確保支援事業 認知症対応力向上研修会

平成27年12月13日(日)午前9時20分より本会会館5階、大会議室において認知症対応力向上研修会が開催された。この研修会は京都府健康福祉部医療課の平成27年度在宅療養等従事者確保支援事業の一環として行われたものである。この日が第1回目であり、同等の内容で平成28年2月7日にも開催されることが決定している。岡田達也事業部副部長の司会で始まり、長尾淳彦会長の挨拶があった。内容は当講習会が府の補助金をいただいて開催されている旨のことを述べられ「我々の団体が公的に認められているということを示しており、出席者の皆さんは心して受講し、内容の習得に努めて欲しい」と話された。次にオリエンテーションとして当日の研修の流れについて説明があった。カリキュラムを次に示す。

9:00～9:20 受付

9:20～9:30 オリエンテーション

9:30～11:00 1講目「高齢者と介護保険や社会福祉制度との関わり合い」

社会福祉法人京都市社会福祉協議会 施設福祉推進室 介護保険事業部部長
齋藤忠彦様

11:10～12:40 2講目「高齢者の身体的特徴、認知症の基礎知識」

杉本医院 医学博士 杉本英造先生

12:40～13:30 昼食

13:30～15:00 3講目「社会的資源の活用や連携方法、実践的な接し方」

日ノ岡地域包括支援センター センター長 堀田晃平様

15:00～15:20 閉会式

オリエンテーション終了後、稲葉正和事業部員に司会を代わり第1講目に移った。講師紹介の後、講義が始められた。前半は介護保険制度についての解説などを中心に配布資料に沿って進められた。後半は京都市の冊子「高齢者ガイドブック すこやか進行中 平成27年度版」に沿って実際の制度的内容についてお話された。次に質疑応答の時間が設けられた。以下、内容を記す。

- ・質疑：接骨院の現場で認知症の疑いがある方がおられた場合、個人情報の問題もあり、どのように対応したら良いでしょうか。
- ・応答：ご家族がおられる場合、まず、ご家族に連絡を取って相談するのがいいでしょう。独居の場合、地域包括推進センターに連絡を取って相談するのがいいと思います。

10分の休憩の後、第2講目が始められた。講師紹介の後、プロジェクターを使ってパワーポイントによる豊富で多彩な資料を見ながら講義が進行された。この時間ではさまざまなエピソードを交えながら認知症の実践的な態様や症状について学んだ。講義は注目されている認知症ケアの手法「ユマニチュード」の具体的な方法や薬物投与の現状や副作用についても述べられた。また、テレビ放映された認知症の母を介護されている娘さんのドキュメントも見せていただき、認知症について、より理解を深めることができた。以下質疑応答の内容を示す。

- ・ 質疑：我々柔道整復師は介護分野で機能訓練指導員の資格が取れるのですが、今後、活動の拡大について何かご助言等いただけますでしょうか。
- ・ 応答：機能回復というよりは現状維持に主眼を置いてデイケアでの施術をすることは利用者さんに有用ですし、精神面でのケアにもつながると思われれます。(要旨)

昼食をはさんで午後1時30分より第3講目が始められた。講師紹介の後、やはりパワーポイントを使用しての講義であった。前半は社会的資源について、制度論などのお話や、地域包括支援センター（高齢サポート）の活動について、地域包括ケアシステムの概要、目的などについて講義が進められた。後半は相談面接技術について、実技を交えて具体的な対応について講義が進んだ。実技として参加者同士で趣味について話す、そのとき聞き手が目を合わさず、うなずきもせず対応するということを体験し、面接者のアイコンタクトを含めた対応がいかに大切かということを理解した。その後、施術所での患者さんとの会話を例題としたロールプレイング実習が行われて、面接対応について理解を深めた。定刻となり終了した。

午後3時より閉会式が行われ、柴田宗宣副会長の挨拶をもって成功裏に終了となった。今回の講習会は我々柔道整復師がデイサービスなどでの介護分野で活動するとき、有用なものとなると考えられる。また、構築が進んでゆく地域包括ケアシステムにも何らかの形でマンパワーとして参入していく可能性を広げていくことにもつながるのではないだろうか。そうなることを大いに期待したいものである。



長尾淳彦会長



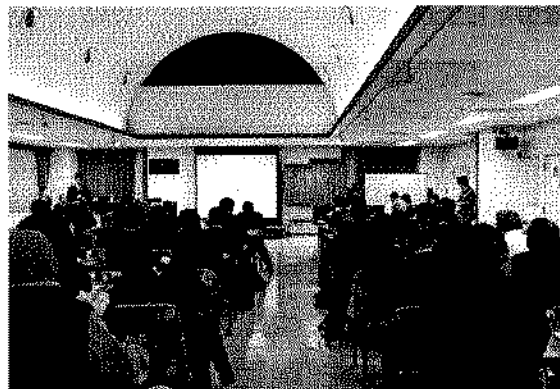
齋藤忠彦講師



杉本英造講師



堀田晃平講師



研修会の様子

京都手をつなぐ育成会 第41回 親睦大運動会

第二分隊 山形高明

京都手をつなぐ育成会 第41回親睦大運動会が10月4日(日)に開催され、山本 剛会員(左京)・山形高明会員(左京)の二人で救護活動をしてまいりました。

転倒された選手はおられましたが、幸いな事に負傷者ゼロで閉会いたしました。

10月にしては高温でしたので熱中症の発生も予想しつつ、緊急時に至った時の対応やAEDを借り、手元に置いておくなど事前準備の重要性を再認識させていただきました。



山形高明会員 山本 剛会員



支部だより

下京・南支部研修会

通信員 保家幸生

平成27年11月21日(土)午後4時より公益社団法人 京都府柔道整復師会館2階小会議室において下京・南支部支部会・研修会・懇親会を開催しました。

錦秋深まる京都、また、清水寺のお膝元での開催に道路の混雑を計算に入れての集合も予想より大きく遅れる会員が続出でしたが若干遅れての支部会のスタートとなりました。支部会では、新入会の住田卓也会員が紹介されました。そして本会の全体会議の模様を報告しました。

午後4時30分より支部研修会となりました。今回は全国的に整形外科医会からの柔整バッシングが強くなっていると聞く中、現状はどうなのだろうとドクターから話が聞きたいということで、高生会リハビリテーションセンター高 謙一郎院長先生を囲んで質疑応答がありました。私は、整形外科医会と業界の関係が厳しくなっている中、支部研修会に高先生が講師としておいで頂いていることに、はば

かられるのではないかと感じておりました。しかし先生は「以前からの付き合いがあるから、人の繋がりを大事にしていきたいからこの支部会に来ていますよ」ということをお聞きして、申し訳なくも思いますし感謝の思いでいっぱいです。

また、整形の先生方のおっしゃっていることももっともです。接骨院の数が激増していく中、いろんなレベルで業務をしている以上、患者さんに迷惑のかかるようなことになってはならないということです。私どもも先生のご好意に甘えることなく、日々の業務に、学術研鑽に労を惜しんではならないと改めて再確認をしました。

午後6時より会場を「はり清」に移して懇親会となりました。始めに林啓史保険部長のご挨拶をいただき佐藤隆信監事の乾杯の発声で開宴となり、お酒を酌み交わしながら日頃の業務に興味に話は弾みひと時を過ごし、和やかなうちに閉宴となりました。



支部勉強会の様子



住田卓也新支部会員

会員の動静

新入会員紹介

嶋村宗弘 (宇治支部)

(9月入会) 賛助会員

〒611-0002

京都府宇治市木幡西浦21-3

第2ユニ宇治1-305



田中俊介 (左京支部)

(10月入会) たなか整骨院

〒606-8115

京都市左京区一乗寺里ノ西町

95番地中号

Tel・Fax: 075-741-6233



住田卓也 (下京・南支部)

(10月入会) すみだ接骨院

〒600-8812

京都府京都市下京区中堂寺

北町49-1

Tel・Fax: 075-314-0707



古閑星丸 (中京支部)

(10月入会) こが接骨院

〒604-8143

京都市中京区東洞院通四条

上ル阪東屋町667-1

プラスパー河野ビル5F

Tel・Fax: 075-212-7662



死亡退会

謹みてお悔み申し上げます

平成27年12月17日 五十嵐 實会員 (北丹支部)

掲示板コーナー

京柔整カレンダー

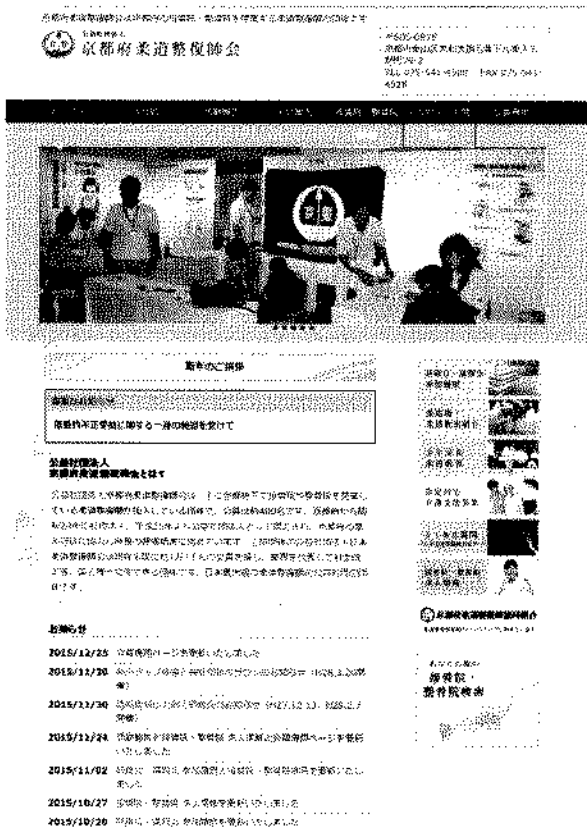
	柔整関係	京都の行事
1月	10日(日)	十日ゑびす (ゑびす神社)
	16日(土)	会館移転計画に係る説明会
	21日(木)	初弘法 (東寺)
	23日(土)	臨時総会
	25日(月)	初天神 (北野神社)
2月	7日(日)	認知症対応力向上研修会 (事業部)
	13日(土)	税務個別相談会
	21日(日)	京都マラソン2016
3月	13日(日)	第66回京都接骨学会・保険講習会
	26日(土)	筋力アップ体操・福祉相談サロン (事業部)

お知らせ

いつもお読みいただき、ありがとうございます。

さて、公益社団法人京都府柔道整復師会ホームページ (<http://www.kyojusei.com/>) は随時更新しております。定期的にご覧下さい。

尚、会員専用ページのログイン情報は「告知板 2015.12」にてご確認のほど、よろしくお願ひします。



京都府柔道整復師会ホームページ



会員専用ページ

より良い会報誌とホームページを心掛け取り組んでおります。京柔整会報へ、会員の皆様のご投稿および ご意見をお待ちしております。京都府柔道整復師会ホームページにつきましても、ご意見などございましたら事務局までよろしくお願ひします。

編集後記

- 診療報酬は減額改定の見通しとなっている。柔道整復療養費はどうなるのか。動向に注目したいと思えます。 森田康裕
- エルニーニョ現象による影響なのか、昨年の12月は冬とは思えない程過ごしやすい環境でした。ここ何年かで見てもおかしな気候だったと思います。とはいえ、朝と夜の寒暖の差は激しく体調が思わしくない方が多数おられました。暦の上ではまだ寒い日が続きますので、乾燥や冷えに気を付けて体調を万全にした上で、平成28年を過ごしていきましょう。 しんじ
- 30年ほど昔の話になるが、ちょうどバブル期の最中、映画「私をスキーに連れてって」の影響で一大スキーブームが巻き起こった。雪道は大渋滞し、リフト待ち2時間も珍しくなかった。ロシニョールの板にラングのブーツが大流行りし、ゲレンデにはユーミンの曲が流れ、とても華やかだったし、スキー場の男女が輝いて見える「ゲレンデマジック」という言葉が出現したことも記憶している。その当時、スキーで盛り上がっていた人達の家庭生活が一段落し、再びゲレンデに戻って来る兆しがあるようだ。私もそのひとりである…。 hatadou
- 新たな年が始まった。平成も28年目なのだ。そのことは自分がそれなりの年になってきたことを思い知らされる。年相応であらんとする意識が果たして重要なのかというと自分の中ではそういう意識はない。若さを希求する思いもまた万人のものなれど思うに任せないことでもある。身体も心も硬くなっていくけれど、なるべく柔らかく保っておきたいものだ。今年も行ったことのない場所に積極的に訪れてみたい。京都や近畿でも行ったことのない場所は多い。そこで何らかの感動が得られて今後の人生に活かすことができればあり難い。柔整業界においては地道に地域に根差した活動を続けて、存在価値を示し信頼回復に努めていくことが重要なであろう。介護分野では地域介護システムに積極的な提案を示して柔整師の新たな業務開拓、即ち訪問施術への筋道がつくことが多くの柔整師の希望といえるかと思う。 Yuji

公益社団法人京都府柔道整復師会の理事になり、初めての正月を迎えました。気持ちも新たに、広報活動に邁進します。皆さまのご投稿、ご意見をよろしくお願いします。また、本会ホームページも随時更新していますのでご確認ください。(http://www.kyojusei.com/) ☆nakatoshi☆

次号 しめ切り 2月26日

京柔整会報 機関誌 138号

平成28年1月20日

発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会
会長 長尾 淳彦
編集責任者 広報部 中川 稔貴
発行所 京都市東山区大和大路五条下ル東入芳野町79の2
☎ 京都 (075) 541-4500
(広報部)
印刷所 奥原印刷紙行
京都市西京区松室北河原町25
TEL. (075) 381-5611
FAX. (075) 392-0111

学大寮因烈国合册

